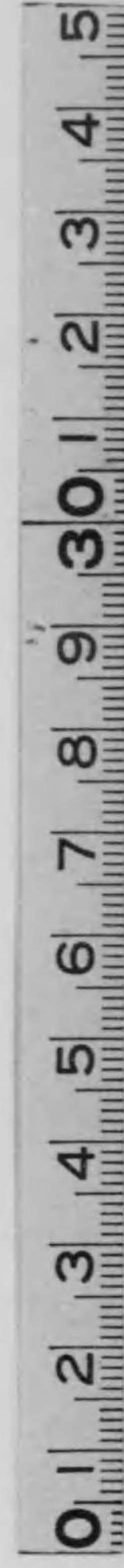




始



打棉機標準衝作

11
422

打棉機標準働作

11-422



打棉機標準勸作

大正
10 2.26
内交

(目 1)

打綿機標準動作目次

第壹章 条件	1
第貳章 運転停止=閑ル事	2
第一節 口付動作	2
(1) エキゾーストオープナー	2
(FIG 1) エキゾーストオープナー口付動作	3
(FIG 2) スカッチャー口付動作	4
(2) スカッチャー	5
第二節 運転付動作	7
(1) エキゾーストオープナー	7
(2) スカッチャー	7
(3) 注意事項	7
第三節 運転停止動作	8
(1) エキゾーストオープナー	8
(2) スカッチャー	9

(目2)

第参章	ラップ ^〇 ニ関スル事	10
第一節	ラップ ^〇 揚及卷付	10
(1)	クレートル ^〇	10
(2)	ロックン ^〇 グ ^〇 フ ^〇 モ ^〇 レ ^〇 ヨ ^〇 ン ^〇 使用セザル場合	10
(3)	ロックン ^〇 グ ^〇 フ ^〇 モ ^〇 レ ^〇 ヨ ^〇 ン ^〇 使用スル場合	11
(4)	インター ^〇 及 ^〇 フ ^〇 イ ^〇 シ ^〇 ヤ ^〇 ス ^〇 カ ^〇 ツ ^〇 ヤ ^〇	12
(5)	ラップ ^〇 揚各段ノ段取	13
(6)	クレートル ^〇 上ノラップ ^〇 運搬	13
第二節	ラップ ^〇 運搬	13
(1)	近距离ノ運搬	13
(2)	遠距離ノ運搬	13
(3)	運搬ノ場所ニ対スル方法	14
第三節	ラップ ^〇 秤量	14
(1)	秤量器ノ種類	14
(2)	秤量器ノ風袋	14

(目3)

(3)	秤量器ノ位置及個数	14
(4)	秤量器ノ掃除修繕及検査	14
(5)	ラップ ^〇 重量誤差ノ制限	15
(6)	ラップ ^〇 ロット ^〇 ノ検査	15
(7)	ラップ ^〇 重量ノ記録	15
(8)	不合格ラップ ^〇 ノ所置	15
第四節	ラップ ^〇 使用ノ順序 及ビ ^〇 所置	16
(FIG 3)	エキゾーストラップ ^〇	17
(FIG 4)	フイニシヤ ^〇 ラップ ^〇	18
第五節	ラップ ^〇 替	19
(1)	ラップ ^〇 クリール ^〇	19
(2)	ラップ ^〇 掛	19
(3)	ラップ ^〇 継キ	19
(4)	ロット ^〇 ノ位置	20

(目4)

(5) ラップロッド標準	20
オ六節 ラップ上ラップの取	21
オ七節 リッキング防止装置	21
(FIG 5) ラップの取	22
第四章 掃除	23
オ一節 担任者及人員	23
(オ1表) 掃除箇所回数道具 (道具図解付)	24
オ二節 掃除箇所回数道具	23
オ三節 運転中掃除動作	26
(1) 動作表、見方	26
(2) 掃除回数	26
(3) 二台以上受持場合	26
(オ2表) オ一回掃除	27
(オ3表) オ二回掃除	28

(目5)

オ四節 交代前、停止掃除	29
(1) 注意	29
(2) ガストラングの掃除	29
(3) エキゾーストオープナーの掃除	30
(4) スカッチャーの掃除	30
(5) 仕事始×台掃除検査	30
(オ4表) エキゾーストオープナー掃除動作	31
(オ5表) スカッチャー掃除動作	34
(オ6表) 仕事始×台掃除検査	37
(FIG 6) 全上検査経路図	40
第五章 注油	41
(1) 注油担任者	41
(2) 注油箇所回数滴数	41
(3) 注油方法	42
(4) 注油進行方法	42

(目6)

- (5) 注油心得 42
(表7) エキゾーストオペナー注油箇所 45
(FIG 7) 全上オペ一回注油順序 46
(FIG 8) 全上オペ二回注油順序 47
(FIG 9) 全上オペ四回注油順序 48
(表8) スカッチャー注油箇所 49
(FIG 10) 全上オペ一回注油順序 50
(FIG 11) 全上オペ二回注油順序 51
(FIG 12) 全上オペ四回注油順序 53
(FIG 13) 打棉室注油方向 54
(表9) ダストラング注油箇所 55
(表10) フォスファー注油箇所 56
(FIG 14) 全上オペ一回注油順序
(FIG 15) 全上オペ三回注油順序
(FIG 16) 全上オペ四回注油順序



打棉機標準動作

第壹章 條件

本動作ハ主トテプラットフォーム機ニヨリ制定セルモノニシテ機台ニハ次設備ヲ有スルモノトス

- (1) 各機ニハ「クレール」ヲ附スルモノトス
- (2) 「ダストラング」下部ニハ袋又ハ塵受箱ヲ取付クルモノトス
- (3) 「エキゾーストオペナー」ハ「サクシヨンパイプ」垂直ノ部分ニ石屑子窓ヲ付シテ「デリベリ」サイドニ於テ棉ノ通過ヲ見易キ様ニナス事トス
- (4) 「ラップクリール」ヲ「インター」及「フキニヤ」ニ取付クルモノトス

(2)

第貳章 運轉停轉 = 開スル 平

第一節 口付動作

(1) エキゾスト オプナー (FIG 1 参照)

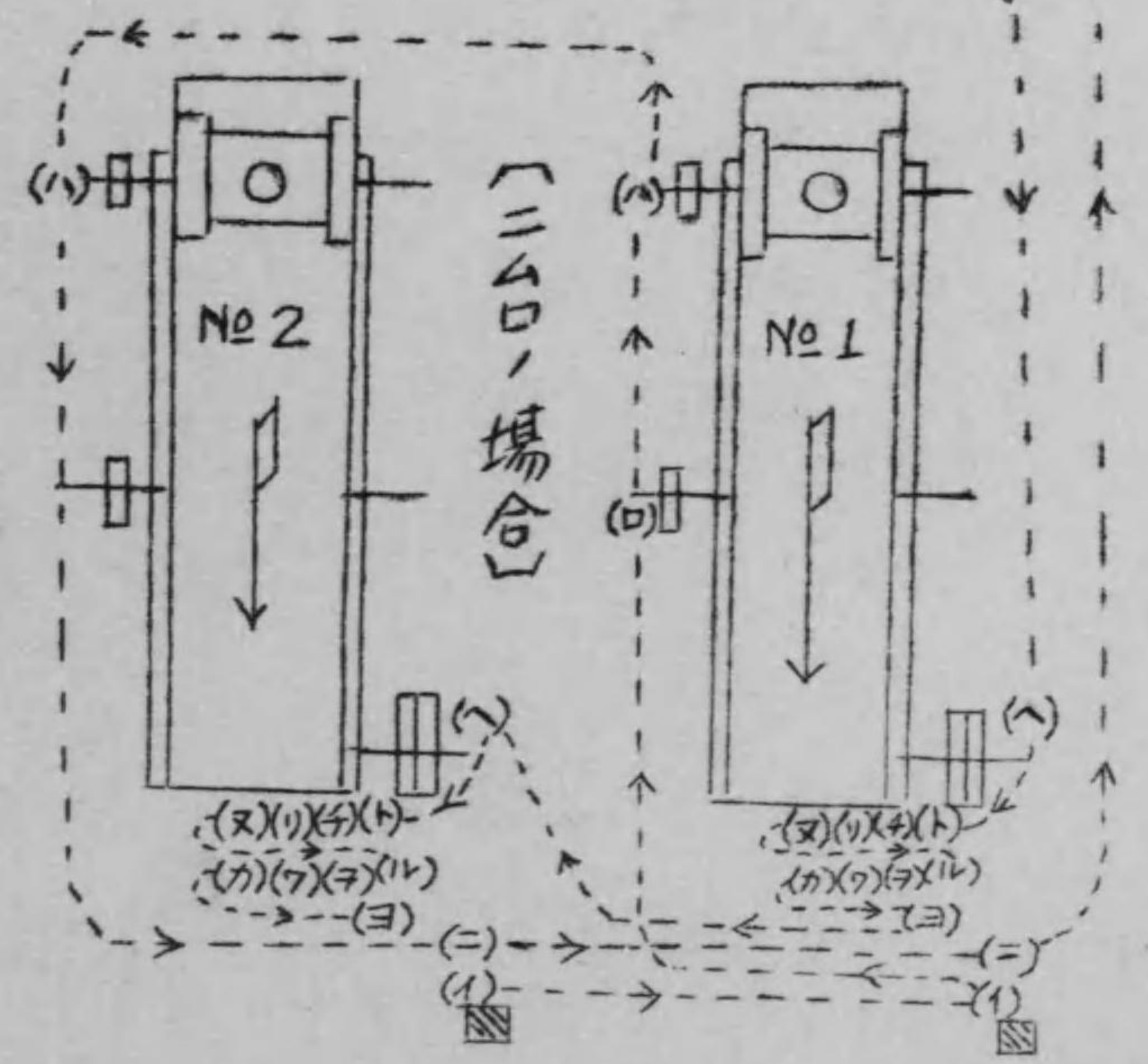
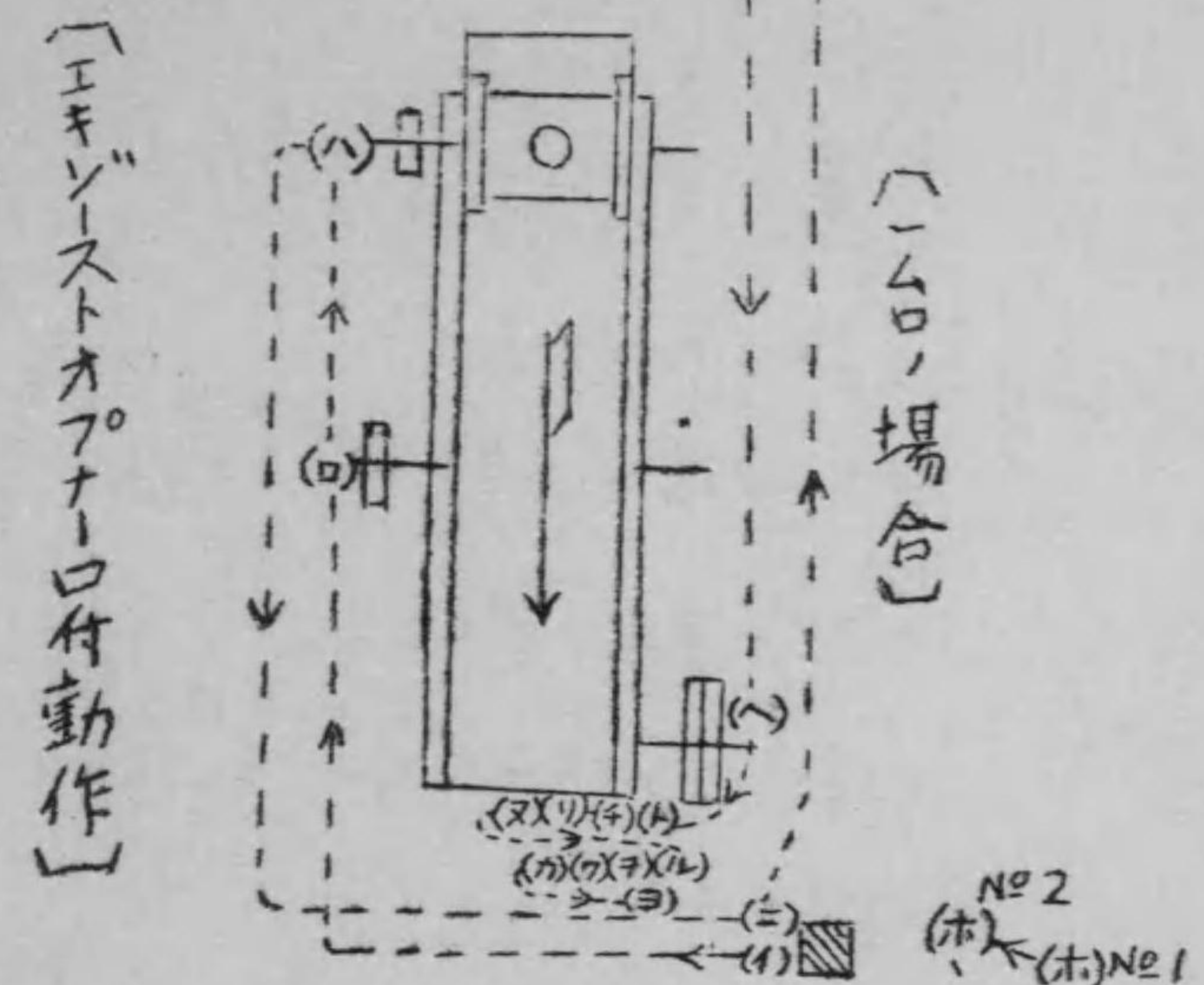
- (イ) レルトヲ半分寄セル
- (ロ) 運轉ヲ助ケル
- (ハ) シリンダーベルトノ外レントスルヲ防ク

- (ニ) レルトヲ全部寄セル
- (ホ) ウエイトレバーヲ上ゲル
- (ヘ) スローモーションヲ運轉ス
- (ト) ドロップレバーヲ上ゲル
- (チ) オーホーニカレンダーローラー間ニ棉ヲ喰ハス

(リ) オーホーニローラーニ棉ヲ付ケ棉ヲホーニホーニ通シ前ニ出ス

(3)

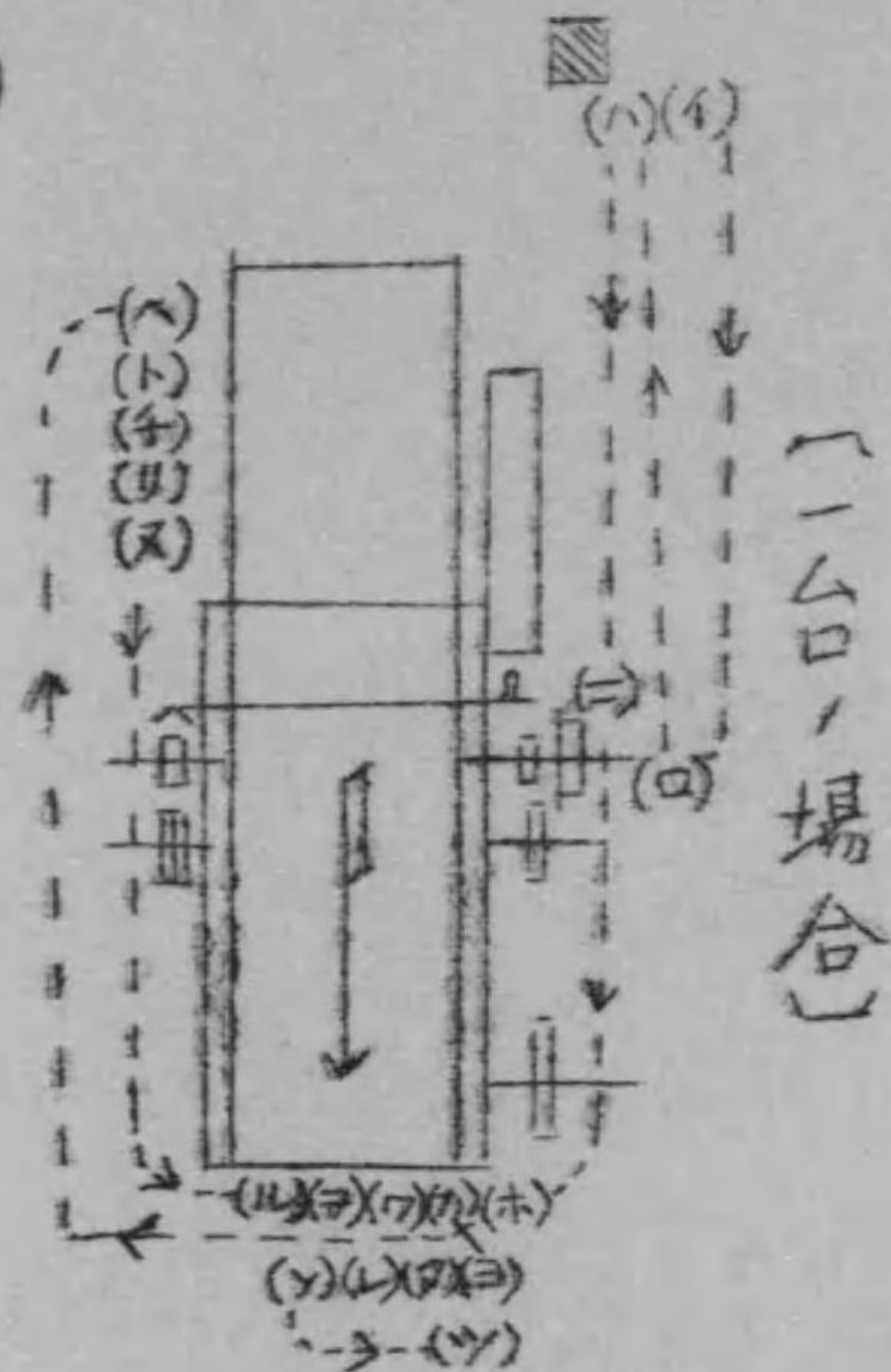
(FIG 1)



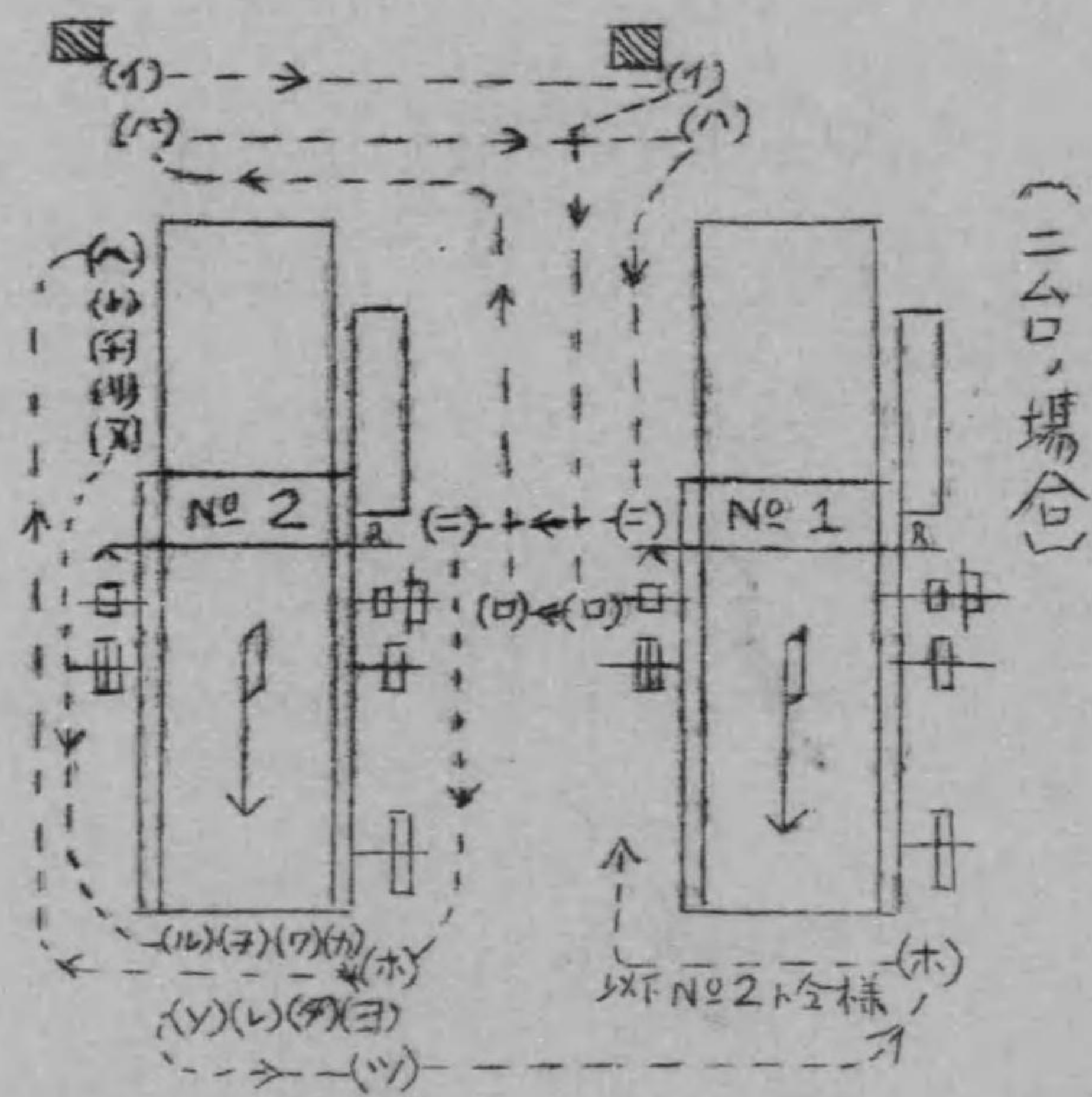
(4)

(FIG 2)

「スカッチヤー口付動作」



「一ムロの場合」



「二ムロの場合」

(5)

- (ヌ) セルローラー下 = 棉子通ス
- (ル) スプライングロット / スタッドヲ引ク
- (ヲ) ドロツプレバーヲ落ス
- (ワ) ドロツプレバーヲ上ゲル
- (カ) テーパーロット = 巻付ヲナス
- (ヨ) アンチフリクションラックヲ下ス
- (2) スカッチヤー (FIG 2 参照)
- (イ) ベルトヲ半分寄セル
- (ロ) 運転ヲ助ケル
- (ハ) ベルトヲ全部寄セル
- (ニ) スローモーションヲ運転ス
- (ホ) ドロツプレバーヲ上ゲル
- (ヘ) 最後方ノラップヲ掛ケル
- (ト) 才ニ番ノラップヲ掛ケル
- (チ) 才ニ番目ノラップヲ掛ケル

{6}

- (11) 末四番目ノラップヲ掛ケル
- (又) 四枚ノラップヲ7#-ドローラーニ
口食ハス
- (12) ケージヨリ出タル棉ヲ糸ニカレン
ダーローラー間ニ口食ハス
- (7) 糸ニカレンダーローラーニ口食ヲ付ケ糸
ニ糸ヨリ糸ニ糸四ローラー間ヲ通シ
前ニ出ス
- (7) セルローラーノ下ニ棉ヲ通ス
- (カ) ラップノ厚サガ適当トナルマテ
ラップヲ床ニ落ス
- (ヨ) ドロツプレバーヲ落ス
- (タ) スナックホキールノ位置ヲ合ハス
- (レ) ドロツプレバーヲ上ケル
- (ソ) テーパーロッドニラップヲ巻付ス

{7}

- (ツ) アニ4フリクションラックヲ下ス
- 第二節 運転付動作
- (1) エキゾーストオプナー
口付動作ノ内 (イ)(ロ)(ハ)(=)(へ)
- (7)(カ)(ヨ)ニ行フ
- (2) スカッチヤー
口付動作ノ内 (イ)(ロ)(ハ)(=)(レ)
- (ソ)(ツ)ニ行フ
- (3) 注意事項
- (1) エキゾーストオプナー
- (イ) 運転前ニエキゾーストオプナート連
結セラルタル諸機械シホツパー7#-ダ
ラ4-ス7#-ダラジストラング7#-ハ
巡 異状ノ有無ヲ検査スベシ
- (ロ) 總テ後部ケージローラート7#-ドロー

(8)

ラー間又はハゲジローラー間、カレンダーローラー間、ラップ部は皺を生じたる時は直ちに取去るべし

(2) スカッチヤー

(イ) 運転前、コンドラムベルト、其他ノベルトノ外に居ラザルヤ否ヤ一通リ異状有無ヲ検査スベシ

(ロ) 運転開始後稍モスレバコンドラムベルトノ外に易キモノナレバ注意スベシ

(ハ) ラップ部ノ皺ヲ取り去ルハ、エキゾーストニ於ケルト合様

第三節 運転停止動作

(1) エキゾーストオフナー

(イ) ラップ部ノ皺ヲ取去ラス、テーパードット

(9)

ハ、フリユテッドローラー間ニ置キ、アンチフリクションラックハ上ゲタル迄トス

(ロ) セルローラー、テーパードットノ次ニ置ク

(ハ) ナローリッププレートヲ掃除ス

(ニ) スロモーションヲ停止ス

(ホ) ベルトヲ寄セテ停止ス

(2) スカッチヤー

(イ) ラップ部ノ皺ヲ取去ラス、テーパードット

ハ、フリユテッドローラー間ニ置キ、アンチフリクションラックハ上ゲタル迄トス

(ロ) セルローラー、テーパードットノ次ニ置ク

(ハ) ナローリッププレートヲ掃除ス

(ニ) ダブルストラッププレート、ベルトヲ

{10}

レスポンスを移す

(ホ) ベルトを寄せて停止ス

第参章 レッパを関スル事

第一節 レッパ場及巻付

{1} クレードル

エキゾーストに於て、ロックオフモーションを使用せザル場合は、ファイキストクレードルを用ひ、ロックオフモーションを用ユル場合及ビ、スキャッチャーニハ、ムーバブルクレードルを使用スベシ

{2} ロッキングオフモーションを使用せザル場合、レッパ場及巻付

(イ) レッパロットとテーパロットニ

差ス

{11}

(ロ) レッパが規定ノ太サニナル時ハ、アンチフリクションロックヲ上ケ

(ハ) テーパロットノ先キニテ、レッパヲ転ス

(ニ) テーパロットヲ、7#ドルバックニ置キ巻付ス

(ホ) アンチフリクションロックヲ下ス

{3} ロッキングオフモーションヲ使用スル場合、レッパ場及ビ巻付

(イ) レッパロットとテーパロットニ差ス

(ロ) スタックが、スプリングロットヲ引クハキ、アンチフリクションロックヲ上ケル

(ハ) ドロップレバーが、落ちルキハ之レヲ上ケル

(12)

(ニ) レバーロッドヲ抜キラップヲ
転ス

(ホ) レバーロッドヲクルードルヲ押シテ
台前ニ行ク

(ハ) レバーロッドヲフキドルバックニ
置ク

(ト) 巻付ヲナス

(チ) 板ヲ返ス

(リ) レバーヲクレヨンラックニ下ス

(4) インター、フキシャー、ラップ場
及び巻付

ラッキングオートションヲ使用スル場合、

エキゾースト(〔3〕)ト大体全様ナレ

氏只レバーロッドヲフキドルバック

ノ上ニ置キテ後、ドロップレバーヲ上ク

(13)

ルノ差異アルハミ

(5) ラップ場各段ノ段取

エキゾースト同士、フキシャー同士

インター同士 No.1 ヨリ No.2.

No.3ノ順序ニ行フ

(6) クレードル上ノラップノ運搬

順次具、置場ニ運搬ス

クルードルヲ元ノ位置ニ返ス

第二節 ラップ運搬

(1) 近距離ノ運搬

近距離ノ運搬ハ凡テ手提法ニ

ヨル

(2) 遠距離ノ運搬

遠距離ノ運搬ハ凡テ頭上法ニ

ヨル

(14)

(3) 運搬ノ場所ニ対スル方法
手提法及ビ頭上法ヲ適當ニ決
定スルコト

第三節 レップ、秤量

(1) 秤量器ノ種類

160封度或ハ20貫掛以下ノ
使用、目盛ハ $\frac{1}{8}$ 封度或ハ10匁

(2) 秤量器ノ風袋

レップヲ損傷セザル様適當台
ヲ作ルヲ可トス

(3) 秤量器ノ位置及個數

秤量器ハ成ルベク手近ニアル様、
調整ハ適當ニ、エキゾスト兼用ヲ禁ズ

(4) 秤量器ノ掃除修繕及検査

1週1回分角秤ノ掃除及検査ス

(15)

ル事、時々無駄目ヲ試換スル事

(5) レップノ重量誤差ノ制限及ビ 秤量ノ本數

レップニシヤレップノ定量ヨリ60匁或ハ
 $\frac{1}{2}$ 封度上下毎「インター」及「エキゾスト」
レップハレップニシヤレ、2倍

(6) レップロットノ検査 毎月一回検査

(7) レップノ重量ノ記録 記入表ニ記録スル事

専門秤量方ヲ置クヲ宜シトス

(8) 不合格レップノ所置

レップニシヤレップハ「インター」トシテ許
ス範圍ノモハ「インター」トシテ「インター」
レップハ「エキゾスト」レップトシテ許ス範圍

(16)

固ノモノハ「エキゾースト」ニ 其他ハ「ビキ
ンク」ニ 返ス

第四節「ラップ」使用ノ順序

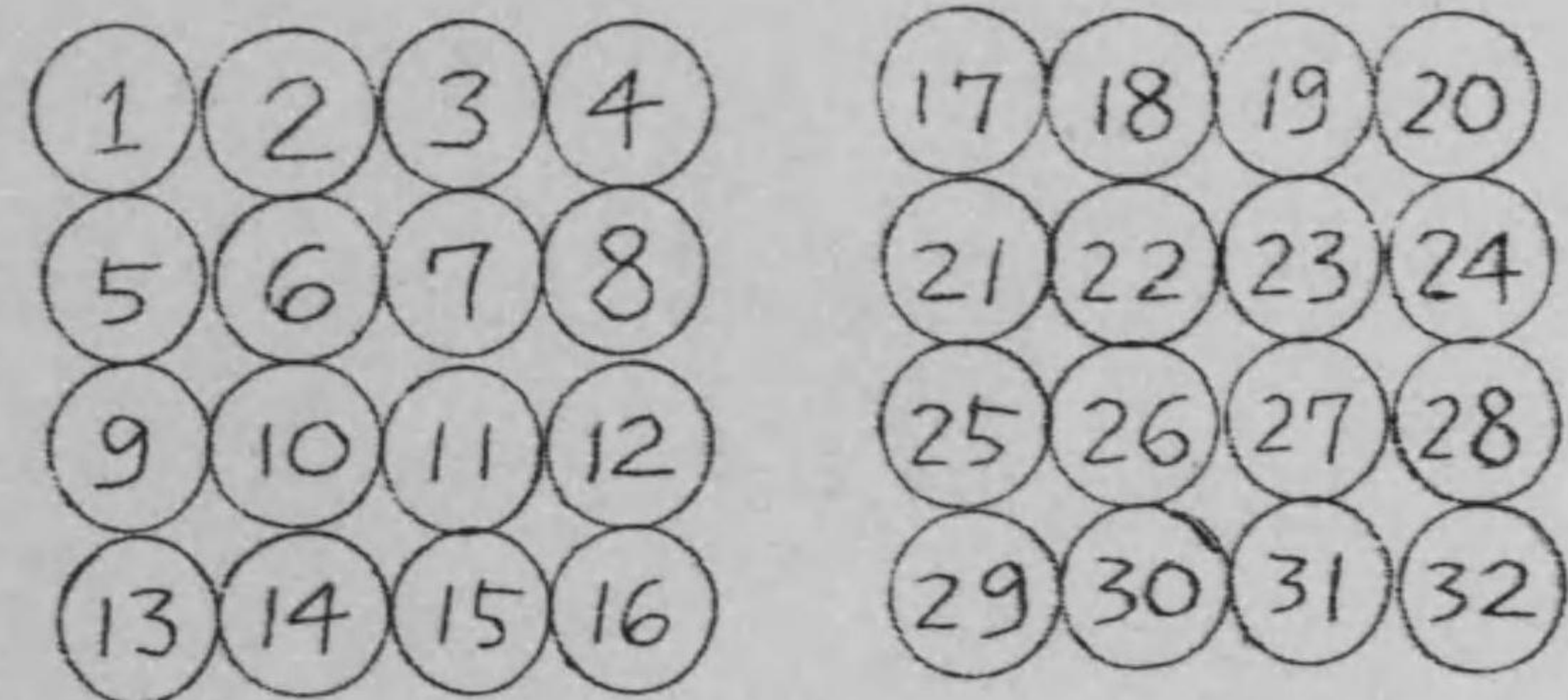
及置場

「ラップ」ノ置場ハ成ルベク2区画以
上トシ古キモノヨリ順次使用スル方針
トス、然レモ「エキゾーストラップ」ハ重
量ノ平均ヲ得ル為メ FIG 3ノ如
クシ「フキ」ニシヤ「ラップ」ハ FIG 4ノ
如クスベシ

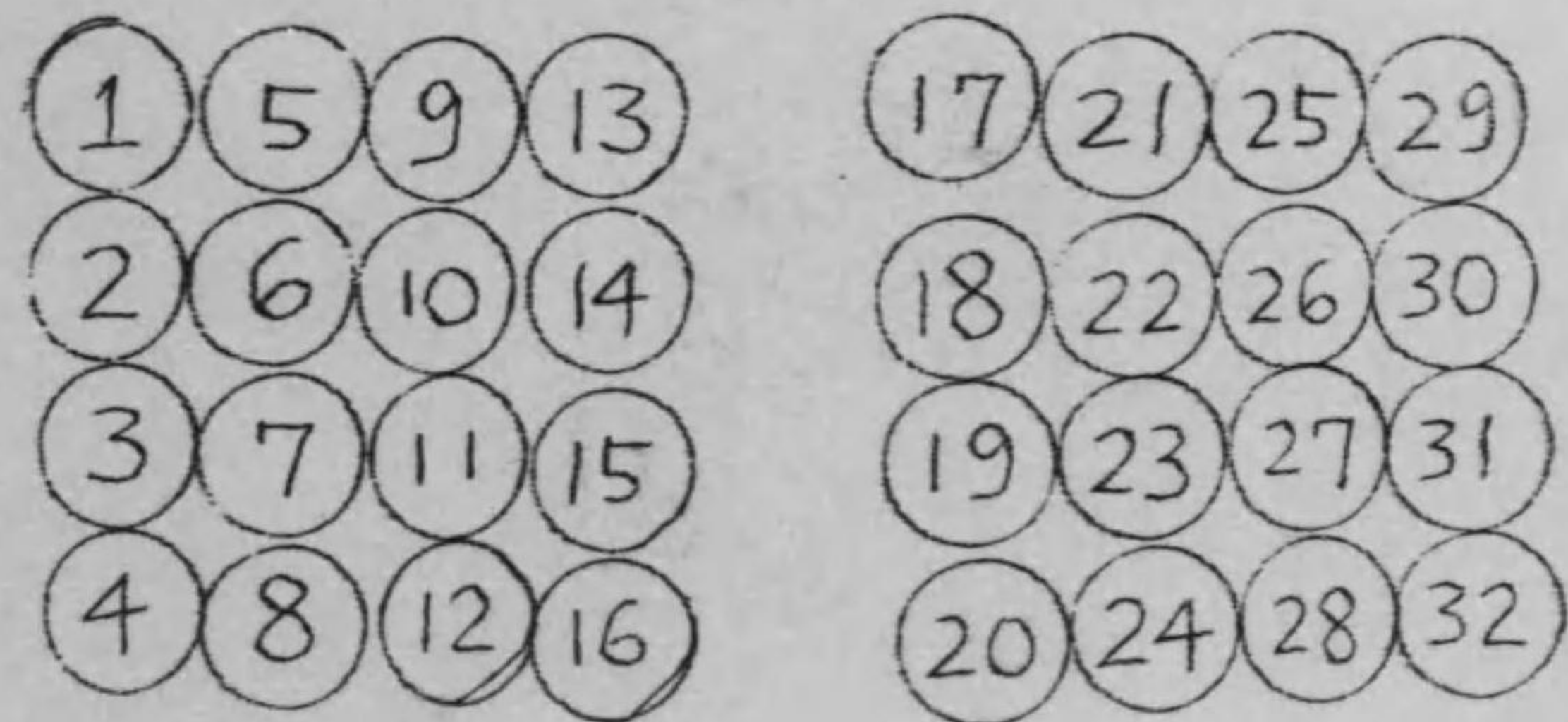
(17)

(FIG 3) 「エキゾーストラップ」

置ク時ノ順序

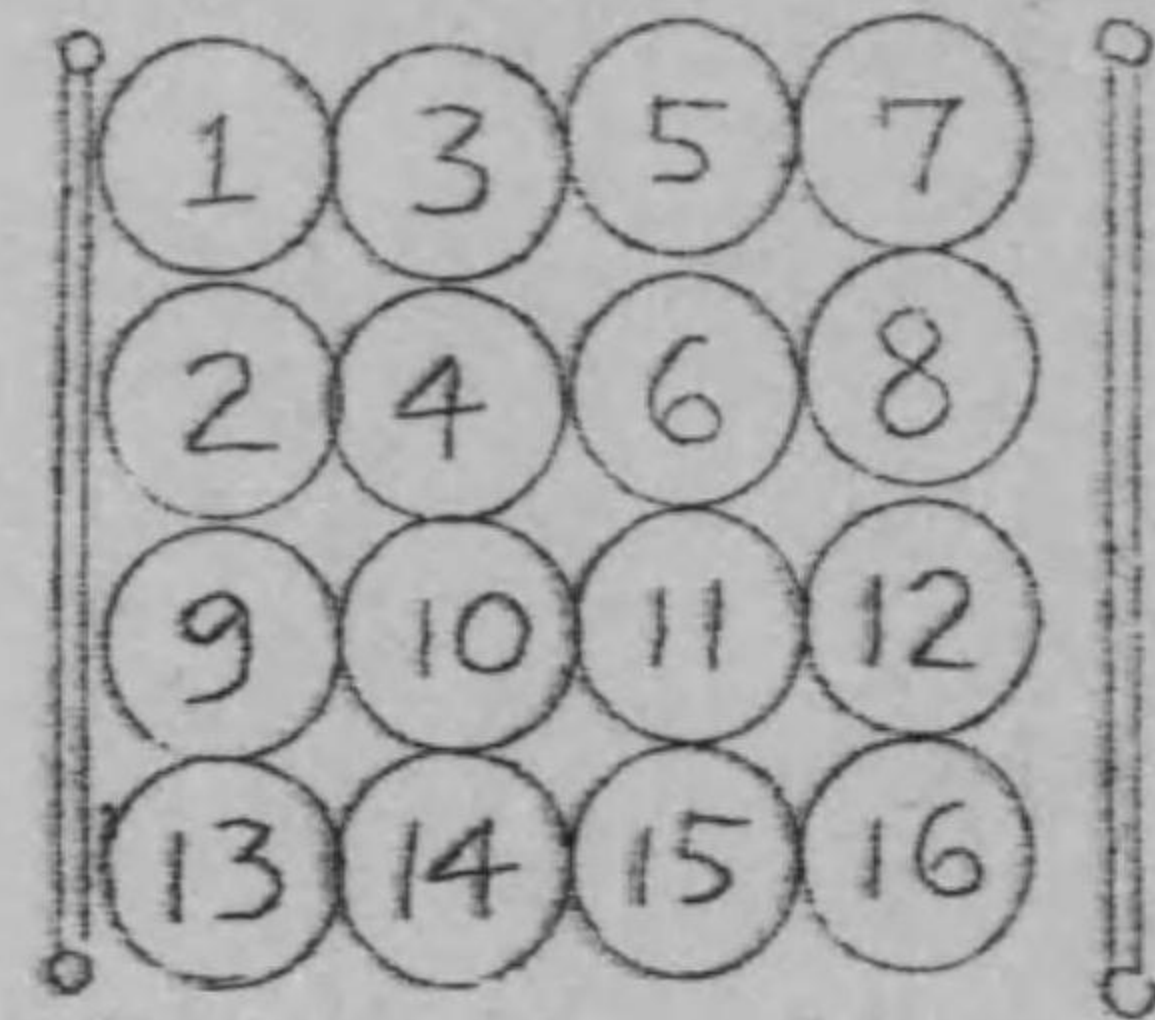


取ル時ノ順序

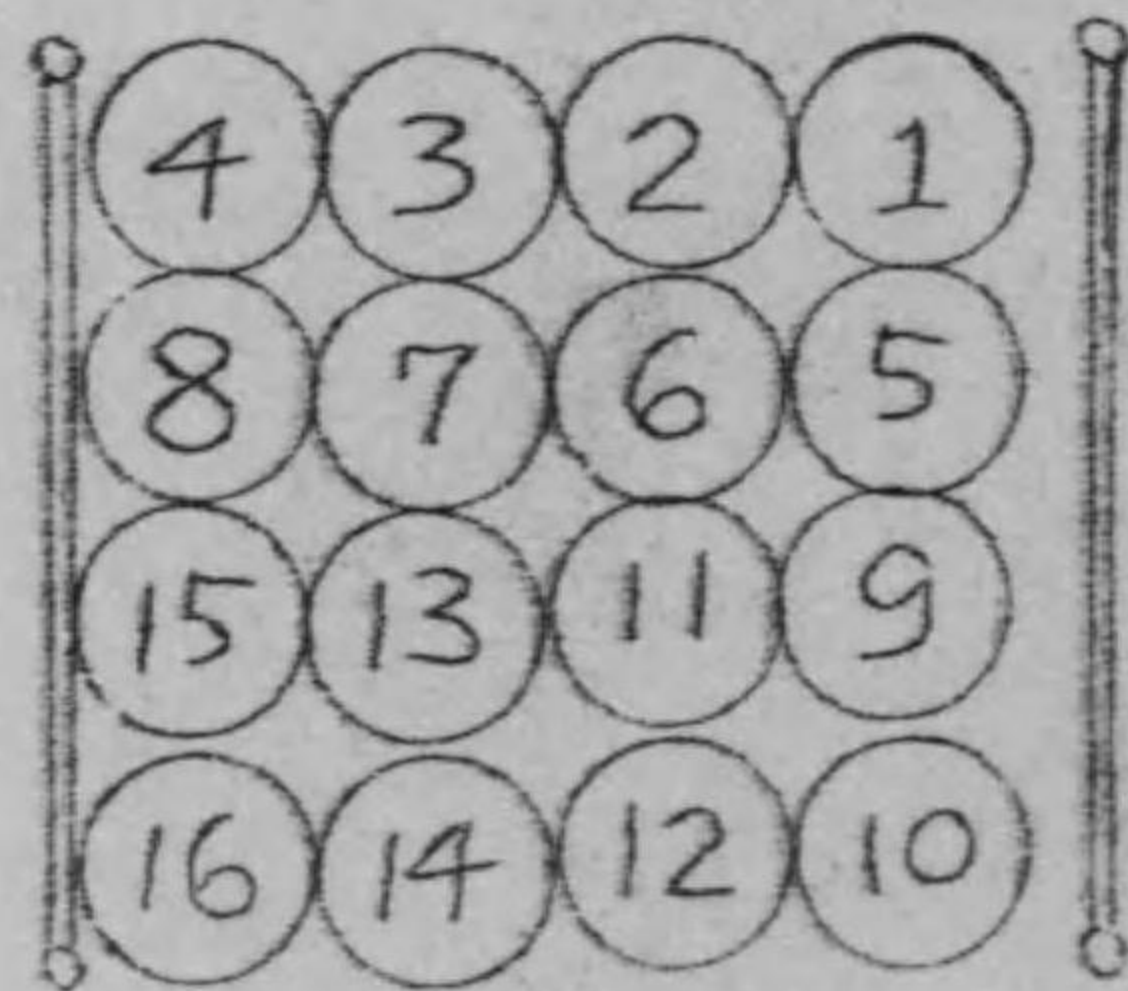


(18)

(FIG 4) {フイニシヤ-ラツフ⁰}
置ク時ノ順序



取ル時ノ順序



(19)

第五節 ラツフ⁰替

(1) ラツフ⁰クリール⁷

フ#-ダ-サイド⁷ = ラツフ⁰クリール⁷ヲ取
付ケテ使用ス

(2) ラツフ⁰掛

(イ) 手提法 = ヨリテラツフ⁰ヲ持チ来
リテ今ノ方ヲ先キニ手前ヲ後ニス

(ロ) 奥ノスタンド⁷ = ラツフ⁰ヲ送ルニハ
右手ニテロット⁷ヲ支ヘ左手ニテラツフ⁰
ノ胴腹ヲ押シテ進ム

(ハ) ラツフ⁰ヲスタンド⁷ニ落スニハ手前ヲ
先キニ今ノ方ヲ後ニス

(3) ラツフ⁰継キ

(イ) ラツフ⁰ノ巻終リガ2尺位ニナリ
タル時始ム

{20}

(ロ)手前ノスタンドヨリロットヲ外シ
後ロニ廻シ今ノ方ヲ次ニ外ス

(ハ)ロットハ一時台ノ横ニ今ヲ下ニ
立テ掛ケ置ク

(ニ)クレールヨリラップヲスタンドノ上
ニ落シロヲ下ニ垂ラセ下ノ端ガ一致
シタルキラップヲ落ス

(ホ)ミミ目ノ能ク玉ヘ置ク

(4)ロットノ所置

台ノ横ニ置キタルロットハ直ニ置
場ニ取ス

(5)ラップロット

ラップロットハ今ノアルモノヲ標
準トス

{21}

第六節 フキードラース上ノラップ

ノ段取

之レハラップノ合計ノ重量ヲ常ニ等シ
クスルタメ又ラップノ簇ヲ少クスルタメ
次ノ如キ四段ノ段取トス

(FIG 5 参照)

各台間ノ段取ハ1台ヲ終リ他台
ニ移ル様ニナス事ヲ得バ最モ良好
ナリ

第七節 リッキングヲ防グタメ簀巻

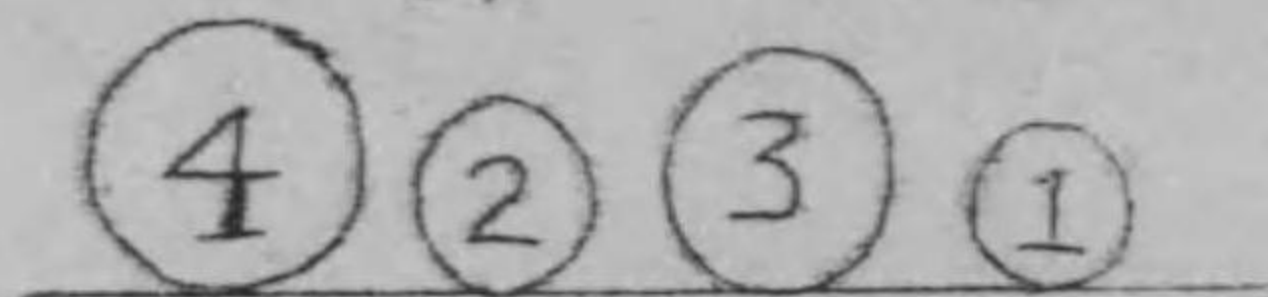
ヲ入ル、事

半ラップ以下ノ場合ニ成ル可ク軟クキ
簀巻(スラビング)ヲ用ヒ一定ノ場所ニ入
レザル事

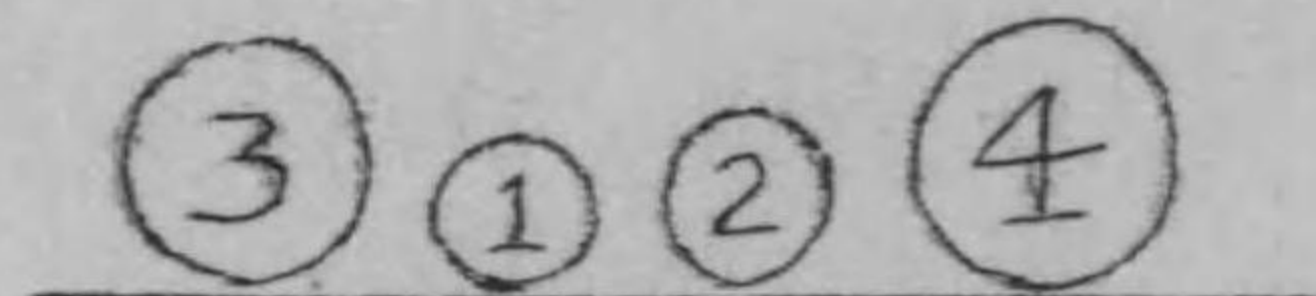
(22)

(FIG 5) (ラップ四段取)

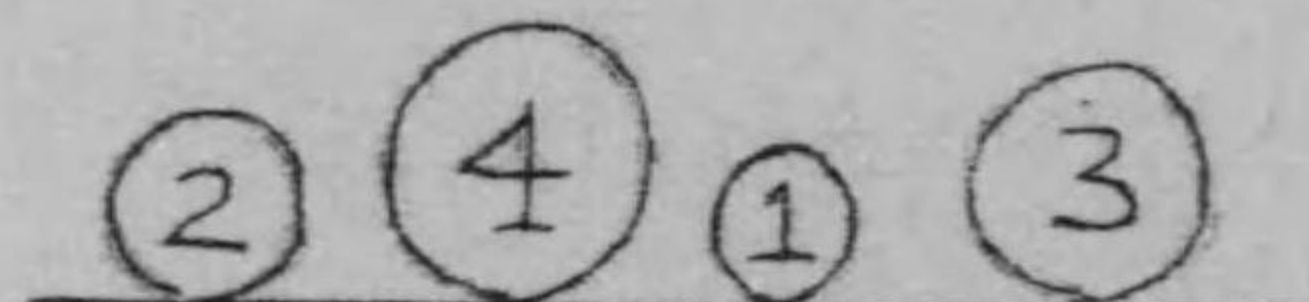
(第一段)



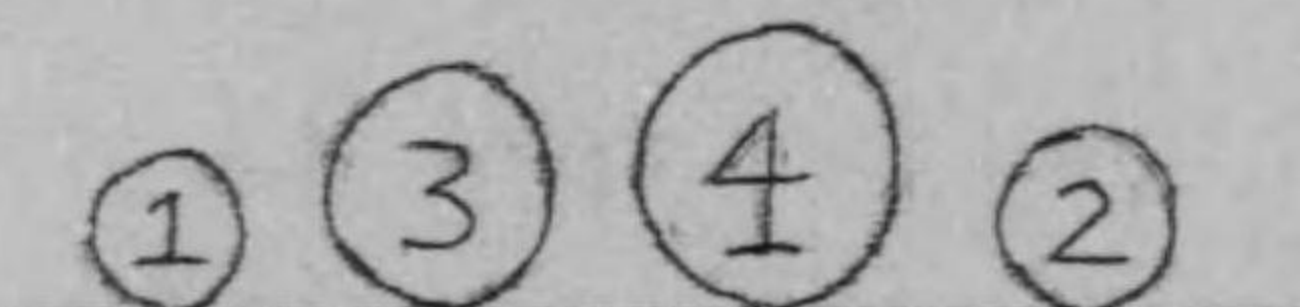
(第二段)



(第三段)



(第四段)



(23)

第四章 掃除

第壹節 担任者及人員

(1) 掃除ハ台持工ノ担任

(2) 人数ハ機台数ニヨリ適宜

(3) 運転中ノ台ノ持方ハ

(イ) エキゾースト全部、インターフォーグーサイト

(ロ) インター前、ワシヤフォーグーサイト

(ハ) ワシヤ前

(4) 掃除ノ受持ハ

(イ) エキゾーストオペター

(ロ) インタースカッチヤー






(ハ) ワシヤスカッチヤー

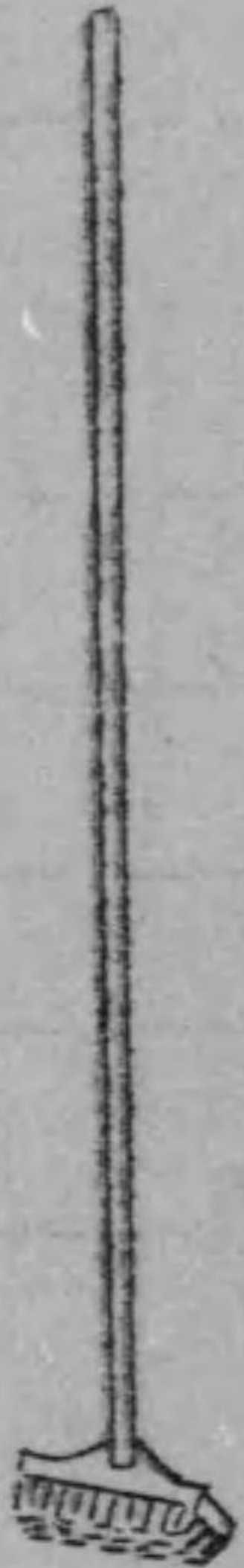




第貳節 掃除箇所回数 道具

(第1表参照)

(第1表) 掃除箇所回数 道具

	掃除箇所	道具	回数	摘要
1	「アルム」 台廻り各カバ	破布及 柄ブラシ	12時間 8-4	
2	「カレンダー」 ローラー	手	〃	
3	「ダストバー」下 屑落シ	ビニブラシ 柄、方	〃	
4	「ケージクリヤラー」	手	〃	
5	「キユラードア」内面 「ケージ」外面	風掃及 金鈎	12時間 4-2	
6	各ペデスタル及 メタル付近	小刷子及 巻取棒	〃	
7	ペデスタル下面附近 ペンダント、ボール	柄ブラシ 巻取棒	〃	
8	「ダストランプ」 「レベリングドア」上F	手	〃	
9	受持台附近床面	箒	〃	
10	「ローリブプレート」 廻り	手、金鈎	12時間 2-1	停止中
11	「カレンダーローラー」下 「クリヤラー」	金鈎及ビ 落物出シ	〃	〃
12	「ベルト」掃除	ベルトブラシ	〃	
13	「ケージ」両身附近 風掃掃除	金鈎	不定	

道具名	巻取棒	「ケージ」 巻取棒	屑出シ	「ラフ」 箒	床箒
備 解					
	掃除箇所 「カレンダローラー」 ネック	「ケージ」 内部	「ビーター」下 屑出シ 「ボール」カレ ンダークリヤ ラー	「ダストランプ」 「レベリング」 「ラフ」	床

「ダストバー」 ブラシ	破 布	木柄 ブラシ	小 ブラシ	金 鉤
				
「ダストバー」 「グリッドバー」 「エキゾースト」 「ダストボックス」 屑出し	油穴 油浸 タル所	台 廻り	「ファンペ デスタル」 「カレン グイアラン タル」	「ボトム カンダク メラー」 「ケー シ及カ バー周」 「ケー シ」 「各 カ リ ワ ド バー」 「タ ネ ト ラ ン ク ラ ス 耳」

{25}

14	「ケー ジ」内部	巻取棒	12時間 止	交代前 停止中
15	「エキ ゾースト」後「デ スクドア」 内部	石皮布及 ビ手	〃	〃
16	「ダ ストバー」掃除	「バー ブラシ」	〃	〃
17	「ベ ーターカ バー」内部	石皮布及 ビ金鉤	〃	〃
18	「ベ ーター」下 落物出し	屑出し	〃	〃
19	「デ スクド ア」内部 (ケー ジ附近)	石皮布及 「バー ブラシ」	〃	〃
20	「シ リンダ ーシャ フト」	手	〃	〃
21	「グ リッド バー」及 屑物出し	「バー ブラシ」	〃	〃
22	「ダ スト ラン グ」内部	「ダ スト」 屑 及 金 鉤	〃	〃

(26)

第参節 運転中掃除動作

(第2表 第3表 参照)

(1) 動作表 見方

(1) 掃除の表、如シ

(2) 順序ハ二回ニ分チ第一回掃除

ヲ1. 2. 3. 4ノ順序ニシテ其次ニ

オ二回掃除ヲ1. 2. 3. 4ノ順序ニ

ナス

(2) 掃除ノ回数

(1) 此ノ二回一組ヲ一日ニ2回乃至

至四回行フ

(2) 工場ニヨリ適宜ニ決定スルヲ

(3) = 台以上一人ガ受持ツ場合ノ

掃除ノ仕方

(1) 第一回掃除ヲ一完ニシテ次ニ第

(27)

二回掃除ヲ一完ニナス

(第2表) 第一回掃除

順	掃除箇所	道具
1	カレンダートップクリヤラー	手
2	ダストボックスノ屑落シ	刷子ノ柄
3	ケージクリヤラー	手
4	サーキョラドア及ケージ外面	風棉、鉤
5	ピアノモーション廻リ外部	手
6	台廻リ	破布、柄刷子
7	ベルト	ベルトブラシ

(備考) ケージ両耳附近ノ風棉除去ハ運

転中サーキョラドア及ピアノモーション外面ノ所ニ適

宜カ加入行フ事トス

又ベルト掃除ハ12時間ニ一度台廻

リ、次ニ行フ

{28}

(第3表) 第二回掃除

順	掃除箇所	道具
1	カレンダー・トップクリヤー	手
2	ダストボックス / 屑落シ	刷子 / 柄
3	レージクリヤー	手
4	右ペダスタル廻り、レタル廻り	破布、小ブラシ 巻取棒
5	ピア・モーション廻り外部	巻取棒、刷子
6	台廻り	破布、柄、刷子
7	床	箒

中食 = 行ク前 = ハ、台廻り迄、掃除動作
 ヲ行ヒ 運転停止後、ロー・ギアプレート
 附近、カレンダー・アンダークリヤーヲ掃除
 シ 最後 = 床ヲ掃除ス

交代前 = 限り、右ペダスタル廻り近
 掃除動作ヲ行ヒ 交代前、停止掃除、

{29}

ヲ行フモノトス

第四節 交代前、停止掃除

(1) 注意

- (1) 停止交代 = スル事
- (2) 各ドアヲ用キ置ク事

(2) ダストトランク、掃除

(1) 準備

(イ) エキゾースト・オー・後、レージ = 附着ス
 ル良棉ヲレージダストボックス、上 = 置ク

(ロ) ダストトランク、トラベリンググラスヲ早く
 廻スク、ベルトヲ寄セル

(2) 方法

(イ) トランク用、箒及金釘ヲ用意ス

(ロ) 棉、入り来ル方、戸ヲ用キ、グラスヲ
 横 = 刷ル

{30}

(1) 戸ハ具ノ終ニ用キ置ク

(3) 屑溜ノ掃除

(1) 屑溜ノ塵ヲ出ス

(ロ) レバーレングドアヲ掃除ス

(4) トランク外面掃除

(1) 床箆ヲ以テ外面ヲ掃除ス

(3) エキゾーストオプナーノ掃除動作

(第4表参照)

(4) スカッチャーノ掃除動作

(第5表参照)

(5) 仕事始メ台掃除検査

(第6表参照)

(1) 検査ノ方針

(1) 掃除ノ丁寧ナルヲ要ス

(ロ) 検査ノ精密ナルヲ要ス

{31}

(第4表) エキゾーストオプナーノ掃除動作

1 | レバーロッドヲ置ク

2 | セルローラーヲ前ニ寄セル

3 | スローモーションヲ停止ス

4 | 後部ケージ前面サーキュラードア、ハンドルヲ捻ル

5 | トローリイプレートニ挟マルタル屑棉ヲ除去ス

6 | トップカレンダークリヤーヲ屑ヲ取ル

7 | 前部ケージ前半面ニ溜リタル屑棉ヲ取ル

8 | ケージエンドドアヲ用キサーキュラードアニ置ク

9 | 前部ケージ後半面右半面ニ溜リタル屑棉ヲ取ル

(32)

10	後部 _L ケージ前片面ノ屑棉ヲ取ル
11	後 _L ケージエントドアヲ開ク
12	左側後 _L ケージエントドアヲ開ク
13	左側前部 _L ケージ後片面ニ油ヲタル 屑棉ヲ取ル
14	左側前部 _L ケージエントドアヲ開ク
15	_L ケージ内部ノ掃除
16	_L シリンダー _L ビーターヲ停止ス
17	台廻リ上 _L ヲ掃除ス
18	_L ボルト _L カレンダーローラー _L クリヤラーノ屑ヲ 取ル
19	後部 _L ケージ後片面ノ掃除
20	_L ダストバーノ掃除
21	_L ビーターノ掃除
22	後部 _L デスクドア内部右半分ノ掃除

(33)

23	_L シリンダーノ掃除
24	後部 _L デスクドア内部左半分ノ掃除
25	_L ダストボックスドアノ塵落シ
26	_L ビーターグリッドバー下面ノ掃除
27	_L ラージダストボックスノ屑出シ
28	_L カストグリッドバーノ掃除
29	_L ビーター下ノ塵棉出シ
30	屑棉運搬
31	台廻リ下 _L ノ掃除
32	床掃除

{34}

(第5表) スカッチャー掃除動作

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | レバーロッドヲ显ク |
| 2 | セルローラーヲ前ニ寄セル |
| 3 | スローモーションヲ停転ス |
| 4 | ナローリフトプレートニ挟マレタル塵棉ヲ除去ス |
| 5 | トップクリヤラー(カレンダー)屑ヲ取ル |
| 6 | 前部ケージ前羊面ニ溜リタル屑棉ヲ取ル |
| 7 | ケージエンドドアヲ開キサーキュラードアールニ显ク |
| 8 | 前部ケージ後羊面右羊面ニ溜リタル屑棉ヲ取ル |
| 9 | 左側前部ケージ後羊面ニ溜リタル屑棉ヲ取ル |

{35}

- | | |
|----|------------------------|
| 10 | 左側前部ケージエンドドアヲ開ク |
| 11 | ケージ内部ノ掃除 |
| 12 | ビーターヲ停転ス |
| 13 | 台廻り上半ヲ掃除ス |
| 14 | ボットムカレンダーローラークリヤラー屑ヲ取ル |
| 15 | ダストバーノ掃除 |
| 16 | ビーターノ掃除 |
| 17 | ダストボックスドアノ塵落シ |
| 18 | ビーターグリッドバー下面ノ掃除 |
| 19 | ビーター下塵棉出シ |
| 20 | 屑棉運搬 |
| 21 | 台廻り下半ノ掃除 |
| 22 | 床掃除 |

{36}

(2) 検査の順序

(イ) 第一 = 特別の場所 = 注意

(ロ) 台廻り全部ヲ見ル

{37}

(第6表) 仕事始メ台掃除検査

1	左側「ケージ」内	エンドドア「ヲ閉ツ」
2	「ボットム」及「トップカレン ダローラー「クリヤラー」	
3	「セルローラー」廻リ	
4	前「ケージ」「サーキュラト ア」廻リ	
5	右側「ケージ」内部	ドア「ヲ閉ツ」
6	「ベーター」及「グリッドバー」	
7	後部「ケージ」前「サーキ ユラトア」廻リ	
8	後部「ケージ」内	エンドドア「ヲ閉ツ」
9	「シリンダ」	石臼子戸「ヲ閉ツ」
10	「ラージダストボックス」内	トップドア「ヲ閉ツ」
11	后部「デスクドア」内部	デスクドア「ヲ閉ツ」

[38]

12	后部 ^レ ケージ ^後 サーキ ラードア ^レ ツ ^{廻リ}	ドア ^レ ツ ^{用ツ}
13	后部 ^レ ケージ ^内	エンドドア ^レ ツ ^{用ツ}
14	后部 ^レ ケージ ^前 サーキ ラードア ^レ ツ ^{廻リ}	ドア ^レ ツ ^{用ツ} ハンドル ^レ 手前 ^{ノミ} 捻ル
15	ビーター ^下	
16	ダストボックス ^レ	ウッドドア ^レ 及 パネルドア ^レ ツ ^{用ツ}
17	ビーター ^レ	カバー ^レ ツ ^{用ツ}
18	ダストバー ^レ	デスクドア ^レ ツ ^{用キ} テ中 ^ヲ 見 ^ヌ ツ ^{用ツ}
19	前部 ^レ ケージ ^後 サーキ ラードア ^レ ツ ^{廻リ}	戸 ^ヲ 用 ^キ テ ^中 ヲ ^見 ヌ ^ツ 用 ^ツ
20	台 ^レ 廻 ^リ 上 ^下 一周ス	ピアノ ^レ モーション ^レ 附近 ^ヲ 含 ^ム

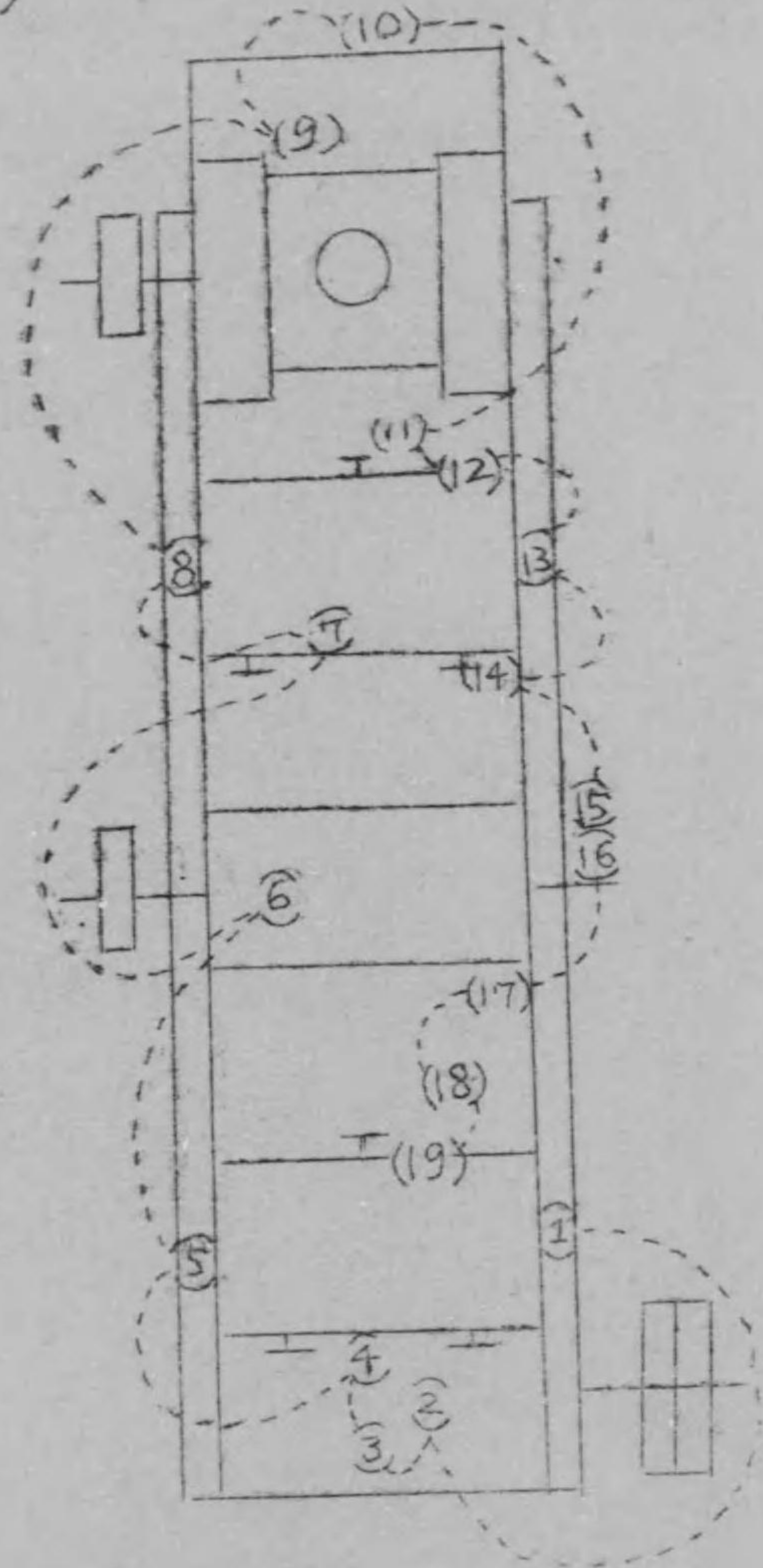
[39]

21	前部 ^レ ケージ ^前 サーキ ユラードア ^レ ツ ^{用ツ}	
22	后部 ^前 サーキ ラードア ^レ ハンドル ^レ ツ ^{捻ル}	

[40]

(FIG 6)

〔仕事始メ台掃除検査径路図〕



[41]

第五章 注油

(1) 注油担任者

(1) 工頭ヲ用フルヲ宜シトス

(2) 注油方ヲ置クモ宜シ

(2) 注油個所回数滴数

(1) 個所回数滴数ハ

(イ) エキゾーストオペレータハ才7表

(ロ) スカツヤーハ才8表

(ハ) ダストバンクハ才9表

(ニ) ラスフダダハ才10表

(2) 回数=対スル種類ハ

(イ) 12時間 = 4回

(ロ) 12時間 = 2回

(ハ) 12時間 = 1回

(ニ) 24時間 = 1回

{42}

{3} 注油方法

注油方法ヲ次、4種トス

(1) 第一回注油

(イ) 及 (ロ) 六時ヨリ

(2) 第二回注油

(イ) 及 (ハ) 九時ヨリ

(3) 第三回注油

(イ) 及 (ロ) 十二時ヨリ

(4) 第四回注油

(イ) 及 (ニ) 三時ヨリ

但ニ夜業ハ(ニ)ヲ除ク

{4} 注油進行方法

(1) 台ニ向テ右ヨリ左ヘ

(2) 上ヨリ下ヘ

{5} 注油心得

{43}

(1) 油穴ニ対スル注意

(2) 注油器ニ対スル注意

(イ) 油出口ノ尖端一部ハ取替ヘ
得ル装置トス

(ロ) 注油量ニヨリ一定ノ口径ゲージ
ヲ備ヘ

(ハ) 一月一回全部工勢部ニ引上げ
検査取替ヘナス

(3) 注油順序ニ対スル注意

(イ) 逆流ヲ出スベカラズ

(ロ) 規定通り実行スベシ

(4) 注油時間ニ対スル注意

(イ) 規定通り実行スベシ

(5) 高速部ニ対スル注意

(イ) 高速ニシテ発熱シ易キ部分ハ

(44)

常=注意シ発熱ノ恐レアル時ハ
昼夜交代ノ際引キ継ギヲナス
事ヲ忘ルベカラズ

(45)

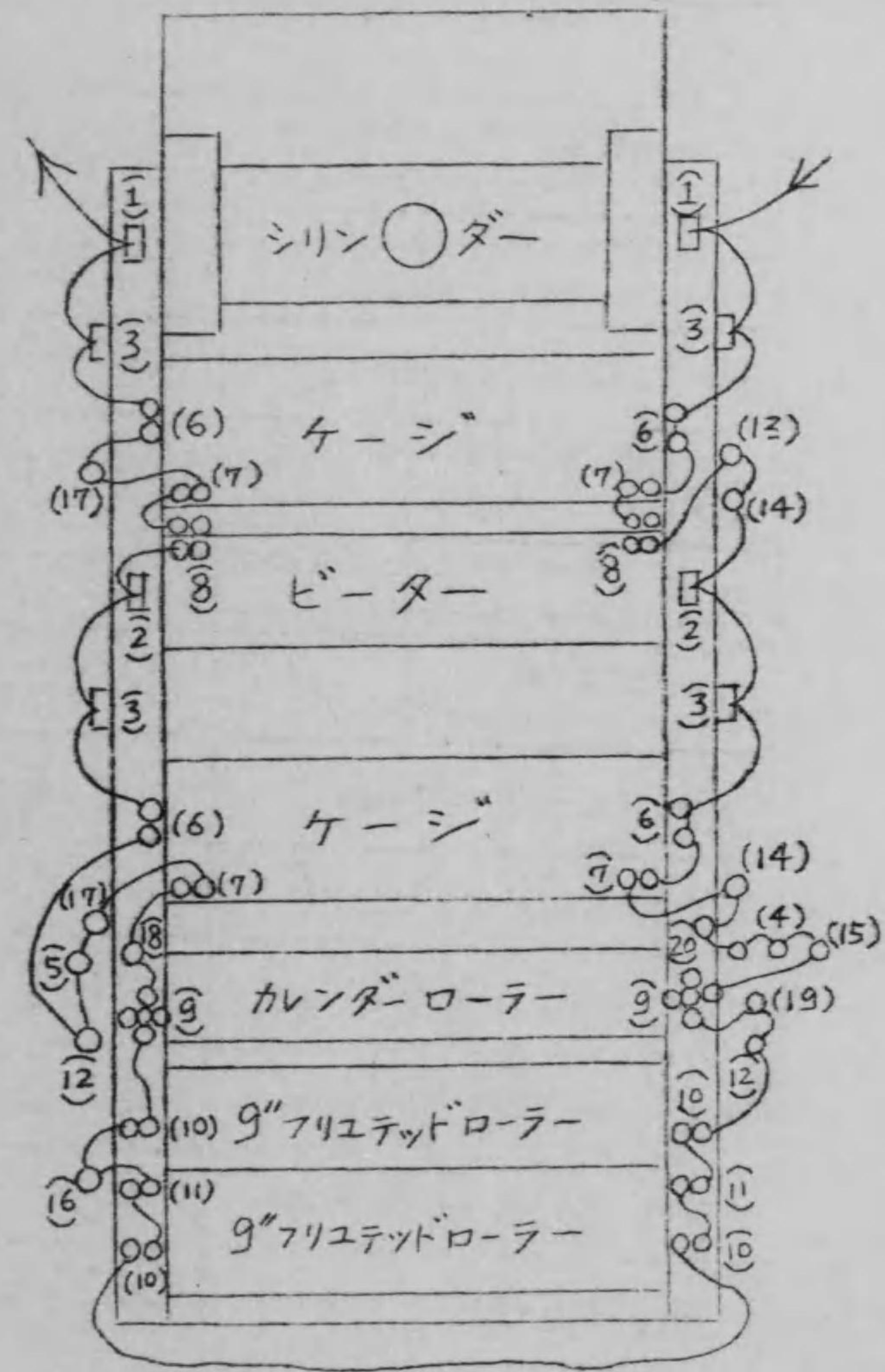
(第7表) エキゾストオプナー⁷注油箇所

符	注油箇所	穴	滴	摘要
1	シリンダーシャフトベテスタル	1	3	左右
2	ピーターシャフトベテスタル	1	3	左右
3	ファンシャフトベテスタル	1	3	左右各2箇
4	スロ-モ-ションシャフト用 キヤノンブラケット	2	3	左
5	スロ-モ-ションシャフト	1	3	右
6	ケ-ジ ブッシュ	1	2	左右各4箇
7	ケ-ジローラーブラケット	2	2	左右各2箇
8	フオ-ドローラー用 ガラスステップ	2	2	左右各2箇
9	カレンダーローラーステップ	5	2	左右
10	9"フリュテッドラップ ローラーガラスステップ	2	2	左右各2箇
11	アン4ブリクシオンラック	2	2	左右
12	ドロップシャフト用 スアベルブッシュ	1	2	左右
13	40"キヤリヤーホ-ル ブラケット	1	2	左

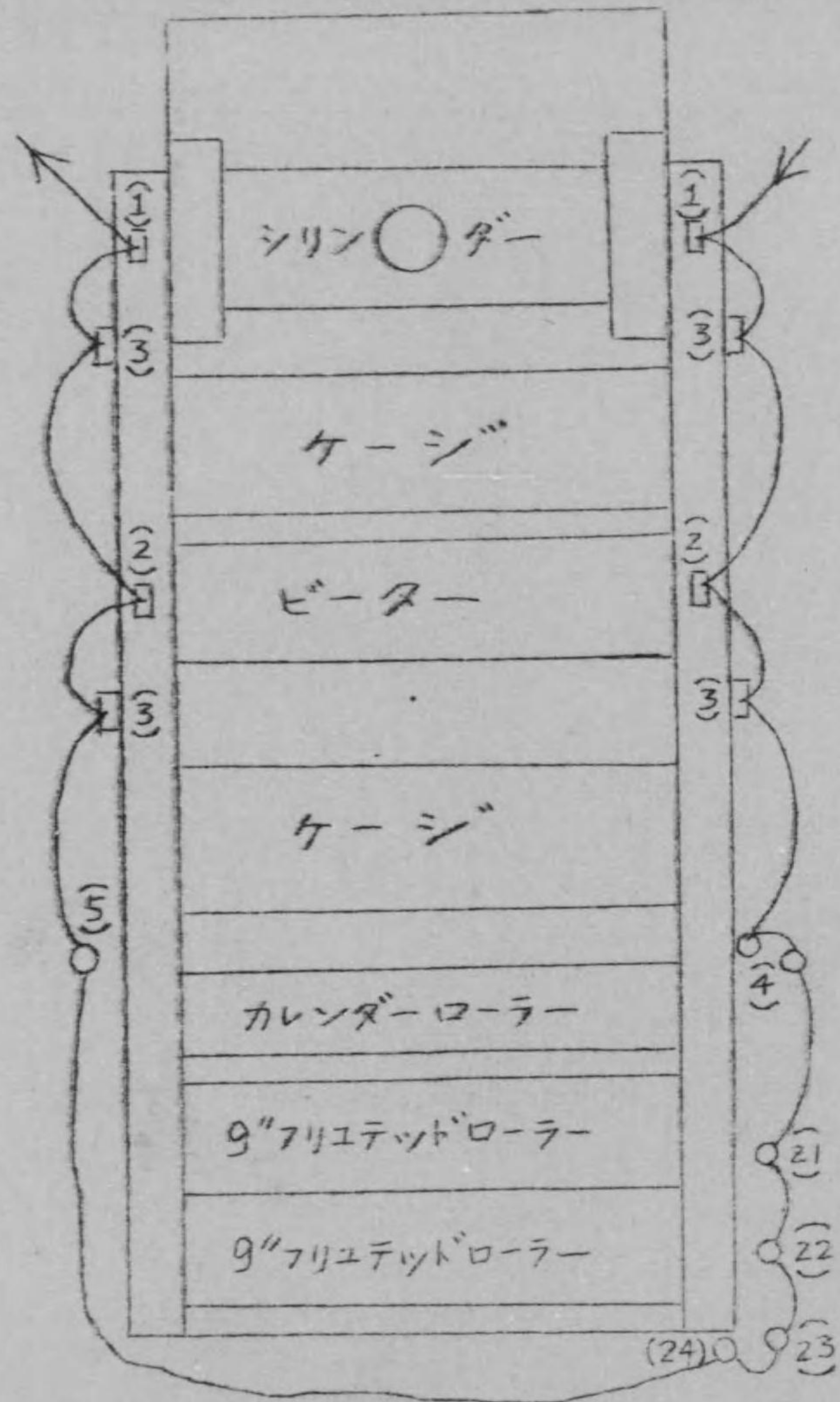
(46)

14	サイドシャフトブラケット	1	2	左 ^前 右 ^後 2箇
15	スローモーションスプーラー	1	2	左
16	21 ^T キヤリヤーホーセル スタッドブラケット	1	2	右
17	40/28 ^T クギルキヤリヤー ホーセルスタッドブラケット	1	2	右 ^前 左 ^後 2箇
18	18 ^T トップキヤリヤーホーセル スタッドブラケット	1	2	右
19	ノッキングオフホーセル	1	2	左
20	25 ^T キヤリヤーホーセル用 スタッド	1	2	左
21	ノッキングオフモーション用 スライドブラケット	1	1	左
22	全上1用 フロントプレート	1	1	左
23	スタングホーセル	1	1	左
24	スワンネックキャッチ	1	1	左
25	ストラップガイドピラー	1	1	左
26	フリクションローラー	1	1	左
27	ウエ-4 th シャフト	1	1	左 右
28	インターミデートシャフト	2	1	左

エキゾーストオープナー
(FIG 7) 第一回及第三回注油順序



(FIG 8) エキゾーストオープナー
第二回注油順序

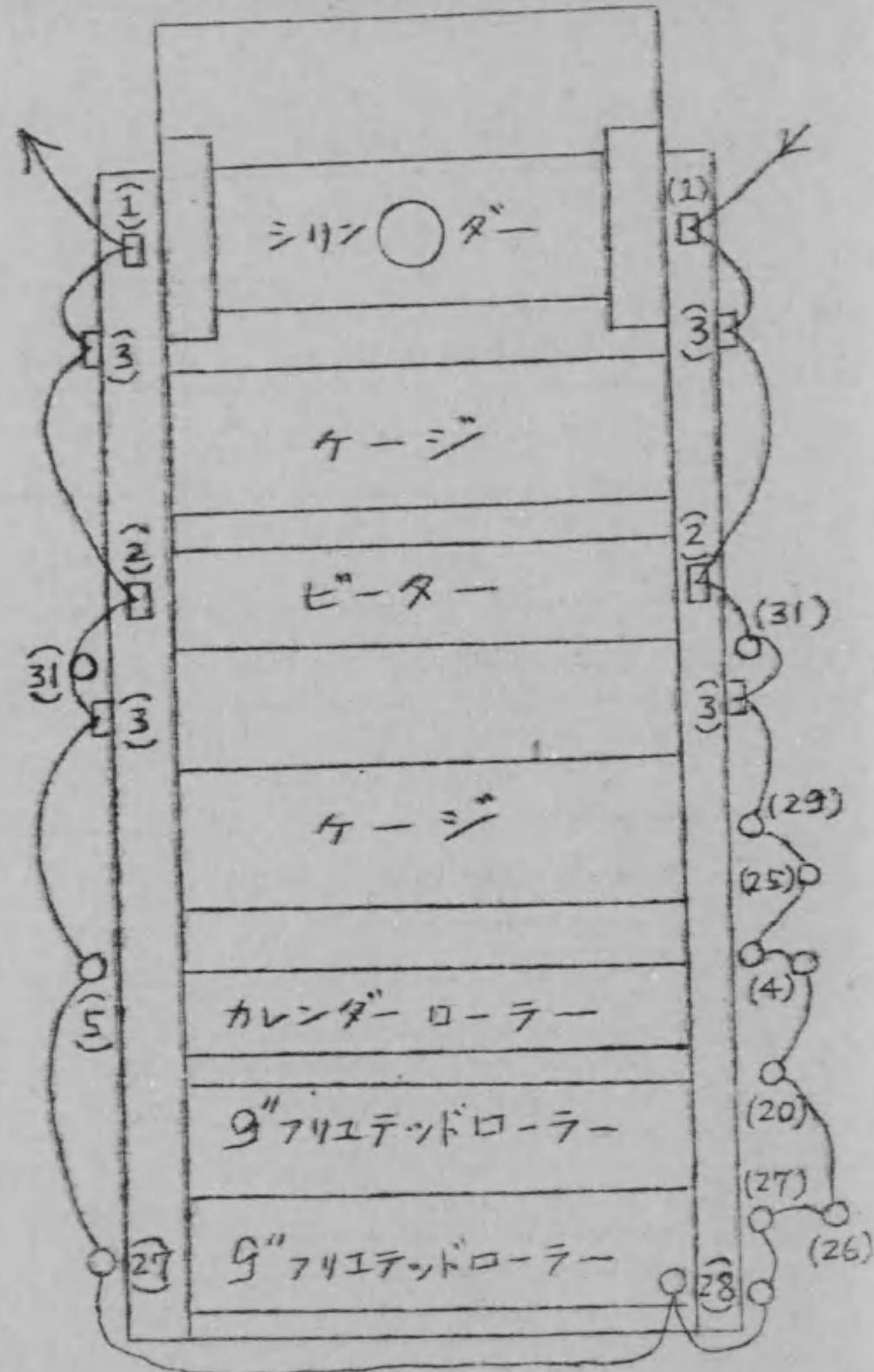


(47)

29	ガスエンゲージングレバー	1	1	左
30	ドロップレバー	1	1	左
31	ダストボックスシャフト用 ブッシュ	1	1	左 右

(48)

(FIG 9) エキゾーストオプナー
第四回注油順序



(49)

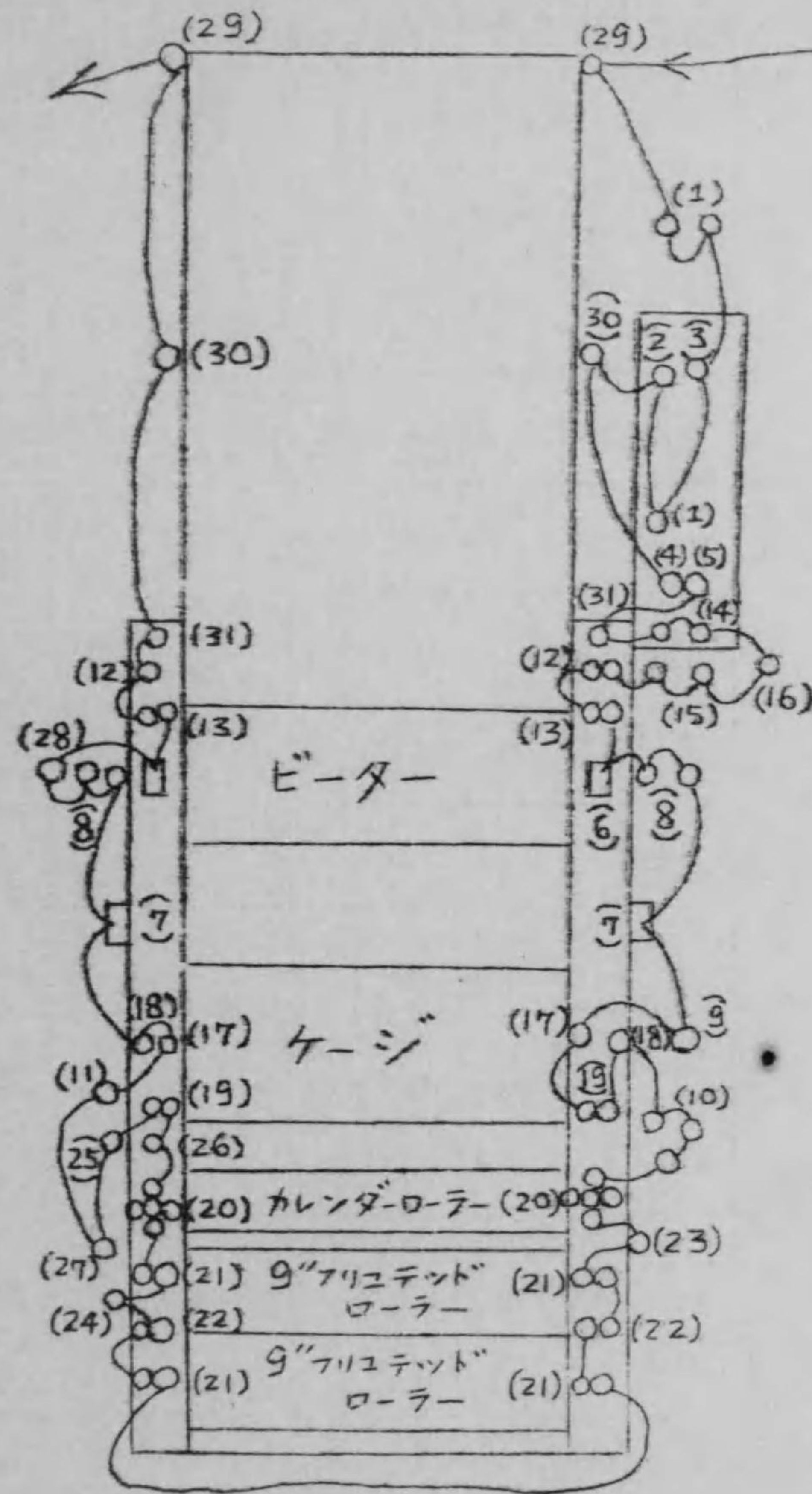
(第8表) スカッチャー注油箇所

符	注油箇所	穴	滴	摘要
1	バンドキリヤローラー ブラケット	3	3	左 <small>オイル キューブ</small>
2	ドライビングコンドラム用 トップブラケット	1	3	左
3	全上用 フートステップ	1	3	左
4	ウォームホールドフィキシング	1	3	左
5	ドライビングコンドラム用 フートステップ	1	3	左
6	ピンターシャフトペDESTAL	1	3	左右
7	ファンシャフトペDESTAL	1	3	左右
8	クロスシャフトブッシュ	2	3	左右
9	スローモーションプレー	1	3	左 <small>オイル キューブ</small>
10	スローモーションシャフト用 キャンノンブラケット	2	3	左
11	スローモーションフィキシング	1	3	右 <small>オイル キューブ</small>
12	レギュレーションローラー ガラスステップ	左2 右2	2	左右
13	フワードローラー ガラスステップ	2	2	左右

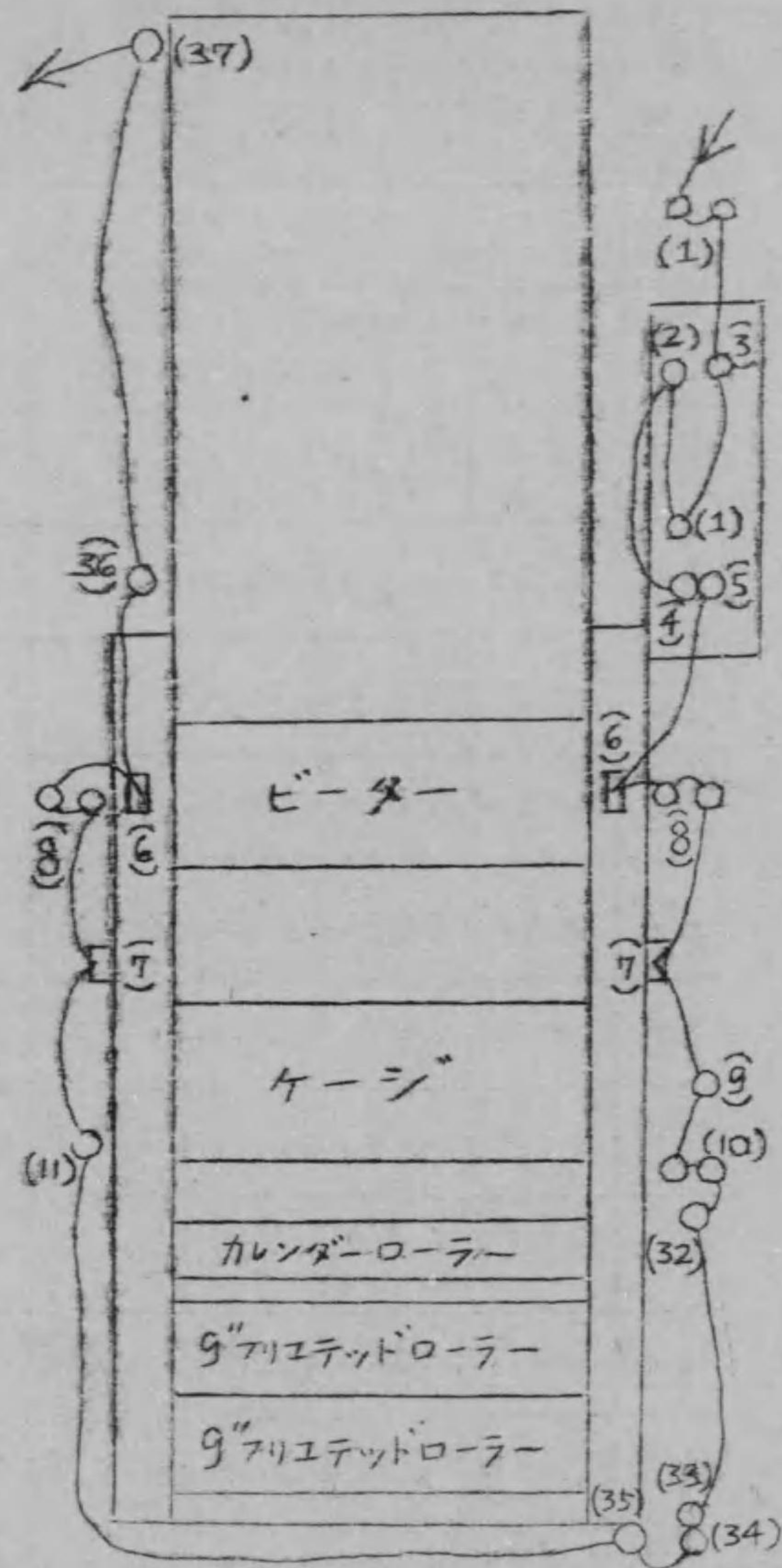
(50)

14	ウォームホーシール	2	2	左
15	キャッチボックス	2	2	左
16	全上用フォーク	1	2	左
17	トップケージブッシュ	1	2	左右
18	ボトムケージブッシュ	1	2	左右
19	ケージローラーブラケット	2	2	左右
20	カレンダーローラーステップ	5	2	左右
21	9"フリユテッドローラー ステップ	2	2	左右
22	アンチフリクションラック	2	2	左右
23	ドロップシャフト用 スギベルブッシュ	1	2	左
24	21 ^T キャリヤーホーシール スタンドブラケット	1	2	右 オイル 4ユ-ブ
25	40/28 ^T ダブルキャリヤー ホーシールスタンドブラケット	1	2	右
26	18 ^T トップキャリヤーホーシール スタンドブラケット	1	2	右
27	ドロップシャフト	1	2	右
28	クロスシャフト用 ルースローラー	1	2	右

(FIG 10) スカッチマー
第一回及第三回注油



(FIG 11) スカッチヤー
第二回注油



{51}

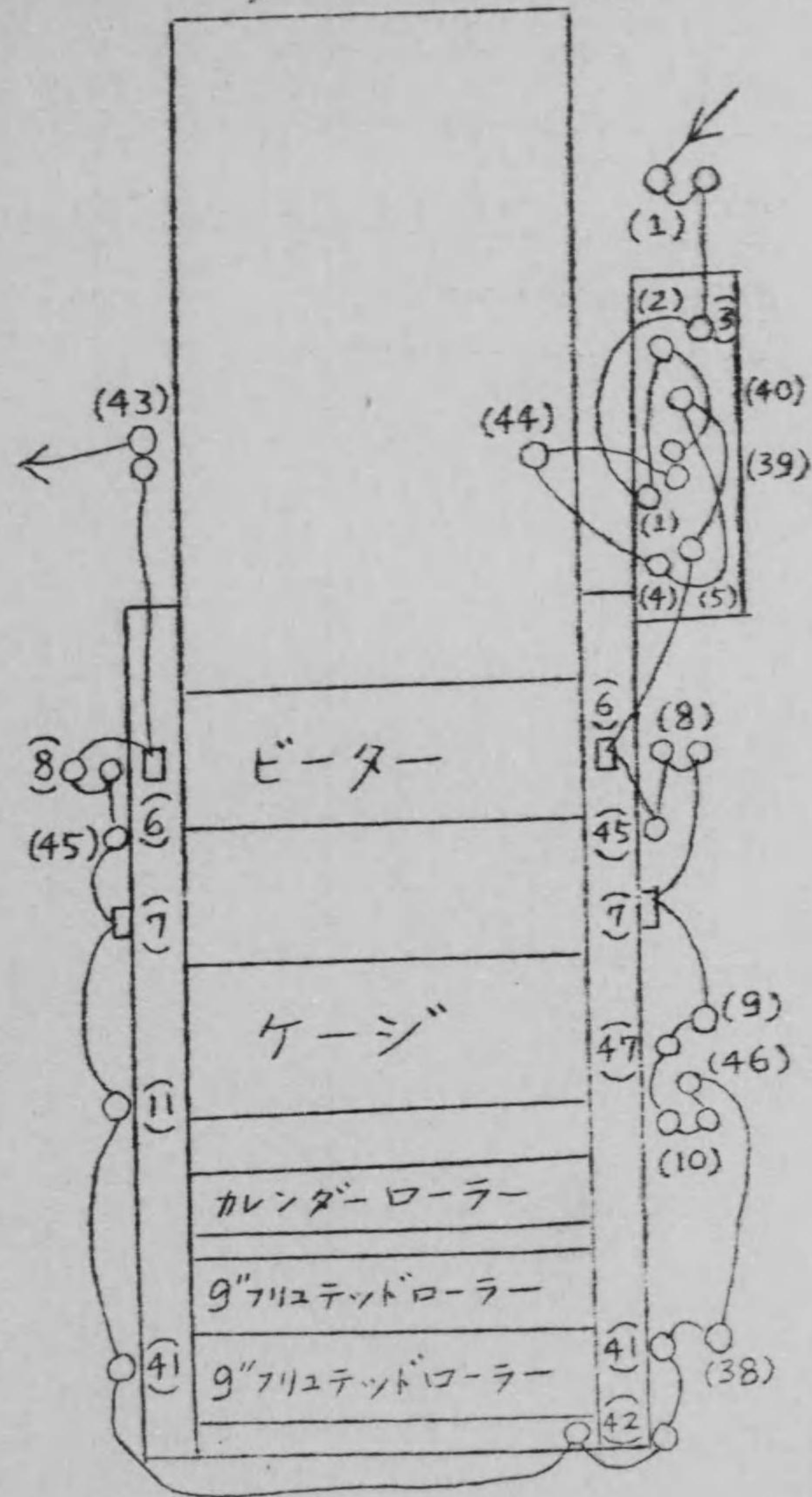
29	バックシャフトブラケット	1	2	左右
30	ワードキャリアローラー ブラケット	1	1	左右
31	フロントラクスシャフト ガラスステツブ	1	2	左右
32	ロックオフモーション用 スライドブラケット	1	1	左
33	全用 フロントプレート	1	1	左
34	48 ^T スタッグホキール	1	1	左
35	スワンネックキャッチ	1	1	左
36	サイドシャフトブラケット	1	2	右
37	サイドシャフト用ブロック	1	2	右
38	フリクションプーレー	1	1	左
39	インテックスフィンガースタッド	2	1	左
40	ストラップガイド用 ロングレバー	1	1	左2箇
41	ウエーキングシャフト	1	1	左右
42	インターミディエートシャフト	2	1	左
43	ダブルホストブラケット	2	1	右

[52]

44	ボールレール用Lレバー	1	L	左
45	ダストボックスシヤフト用 ブッシュ	1	1	左
46	ドロップレバー用 スターラックブッシュ	1	1	左
47	ベルクランクレバー	1	1	左

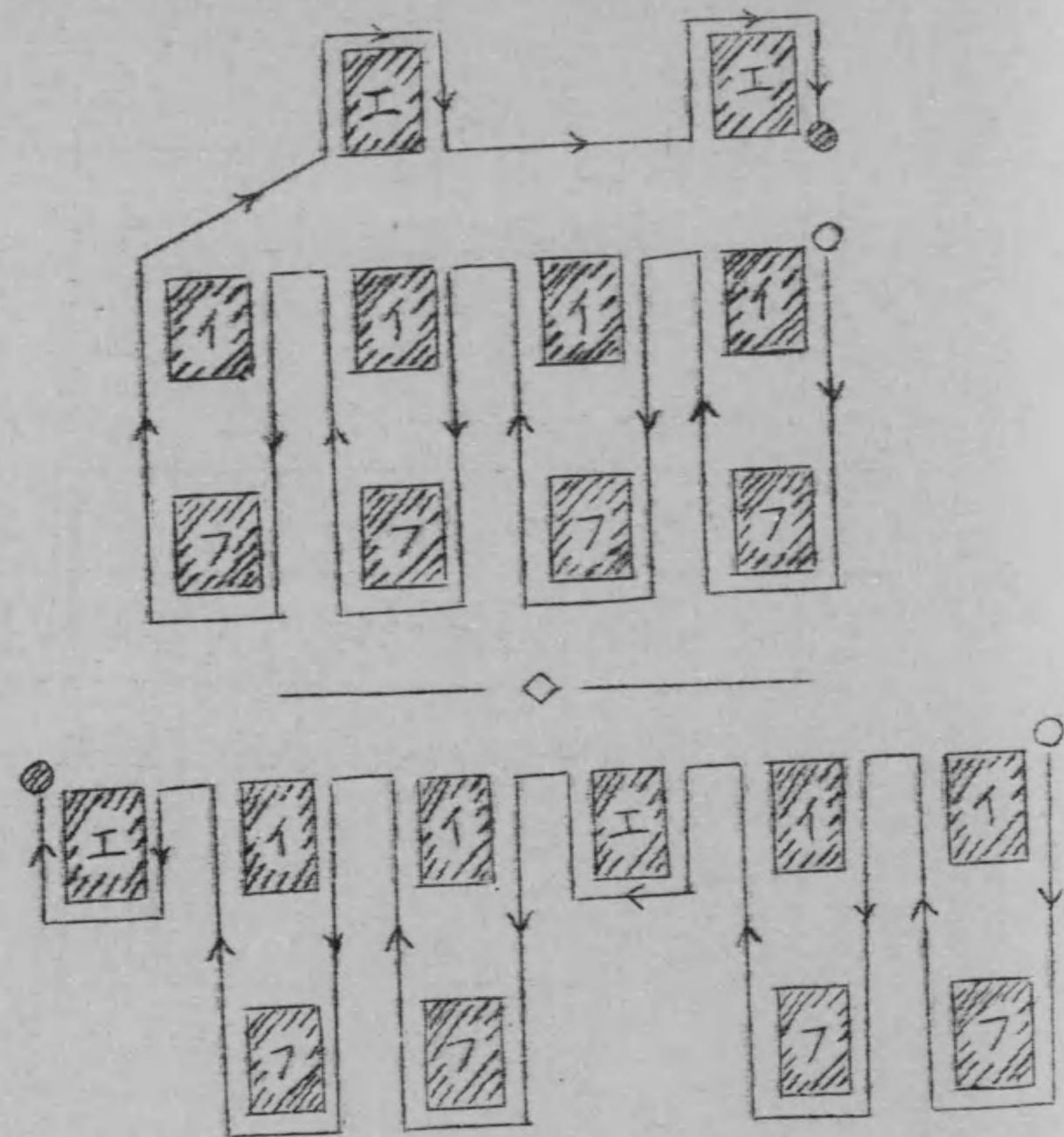
[53]

(FIG 12) スカッチャー
第四回注油順序



{54}

(FIG 13) 打棉室注油方向



- エ エキゾーストオフナー
- イ インタースカッチャー
- フ フイシヤースカッチャー

{55}

(第9表) 「ダストバンク」注油箇所

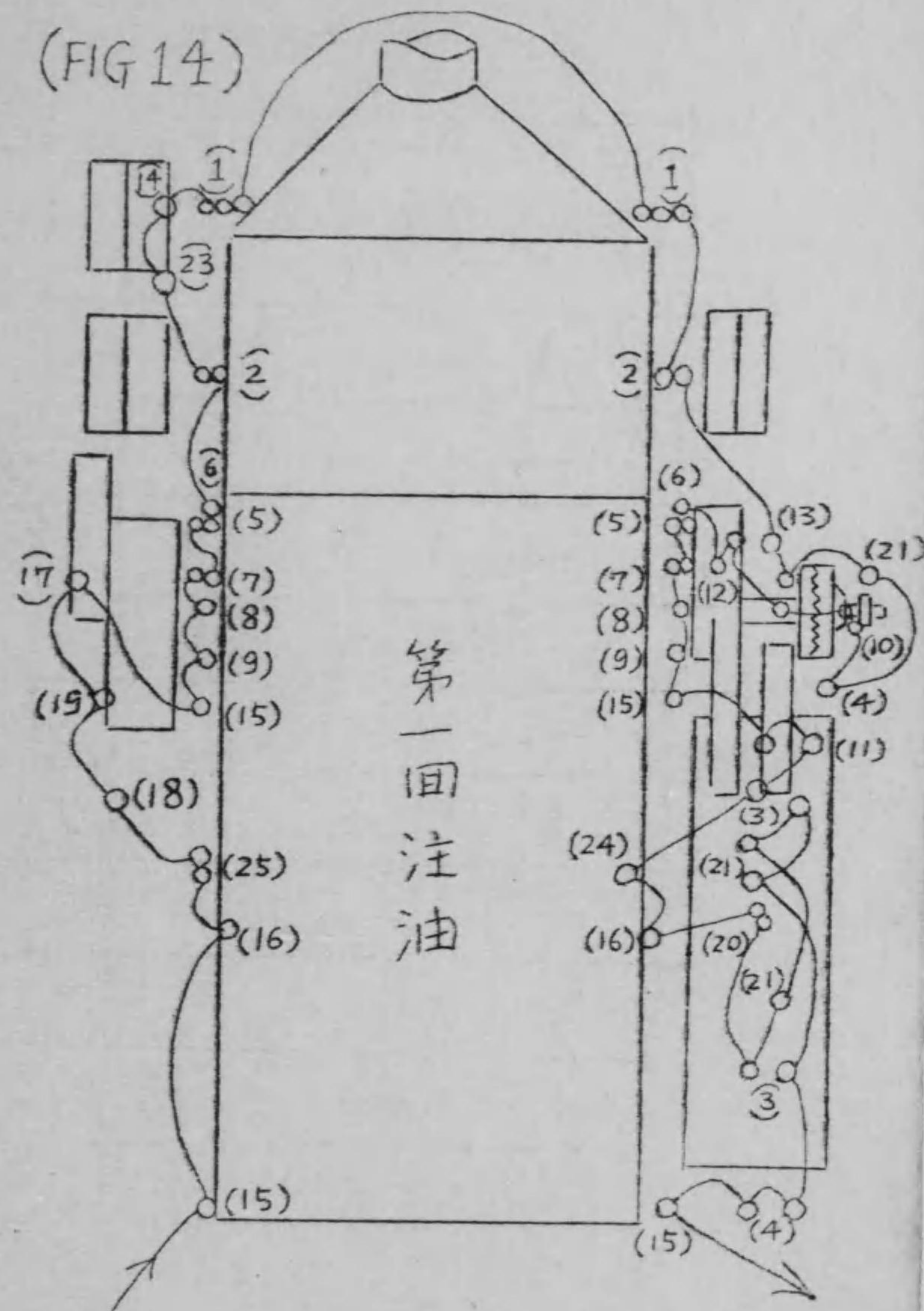
	注油箇所	穴	滴	摘要
1	ドライブングシャフト用 アームブラケット	1	2	
2	ウォームシャフトブラケット	2	2	
3	ショートラクスシャフトブラケット	1	1	2個
4	ロングラクスシャフトブラケット	1	1	2個
5	ラクスキャリアシャフトブラケット	1	1	8個

24時間 = 1回注油

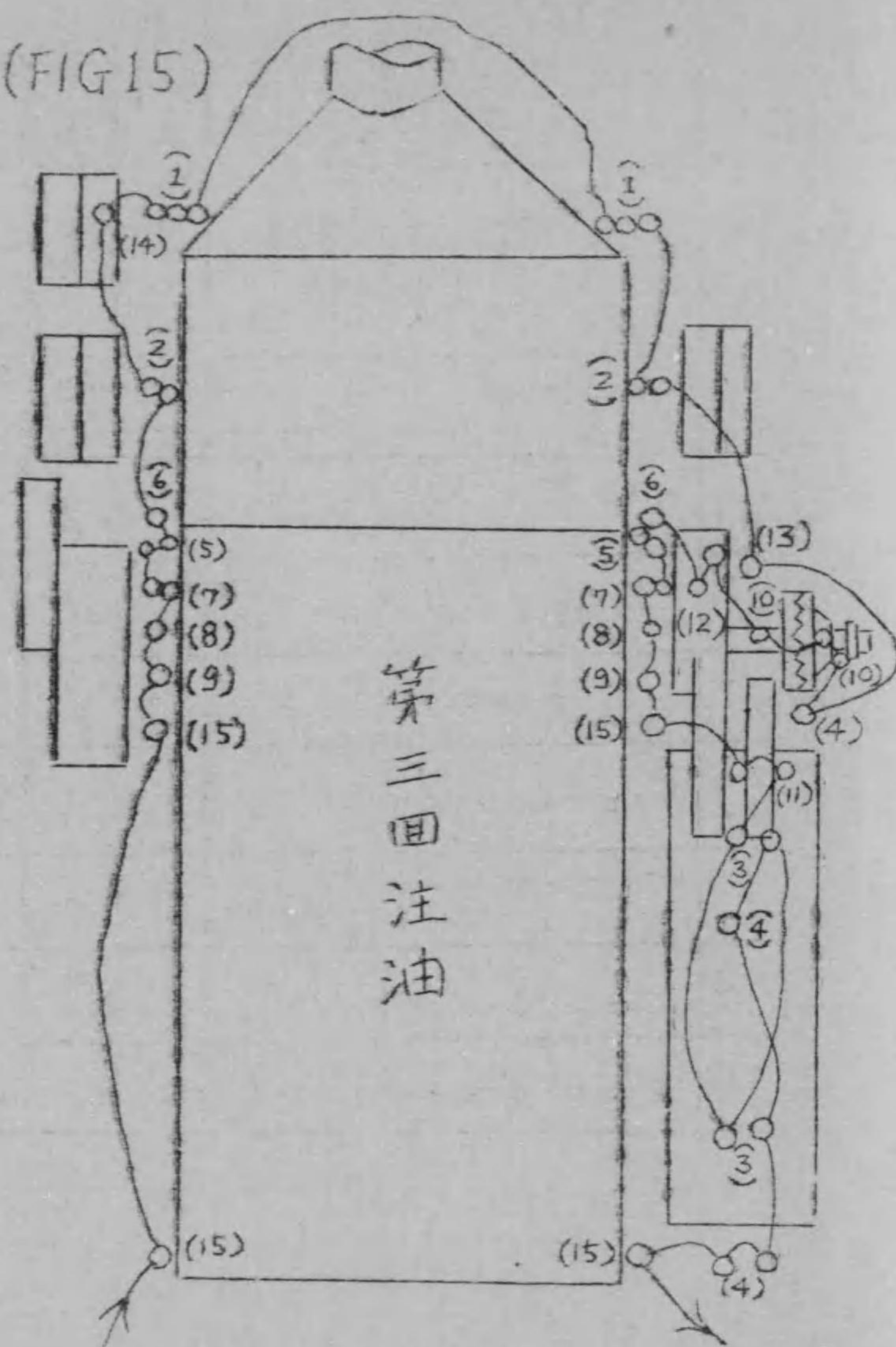
(第10表) ラスフキ-ダ⁷注油箇所

符	注油箇所	穴	滴	摘要
1	クロスシャフトブラケット	3	3	左右
2	シリンダーヘッドスタル	2	3	〃
3	コーンドラム ステップ ⁰	4	3	前後
4	バンドプーレー	4	3	右
5	フリエテッドローラーブラケット	2	2	左右
6	全上 ボトムブラケット	1	2	〃
7	ピラミッドローラーブラケット	2	2	〃
8	レギュレータングローラー ブラケット	1	2	〃
9	コレクティングローラー ブラケット	1	2	〃
10	キヤッチボックス	3	2	右
11	ウオムホ.#-ルファイキング ⁶	2	2	〃
12	ガード	2	2	〃
13	キヤリヤースタット ⁶	1	2	〃

(FIG 14)



(FIG 15)



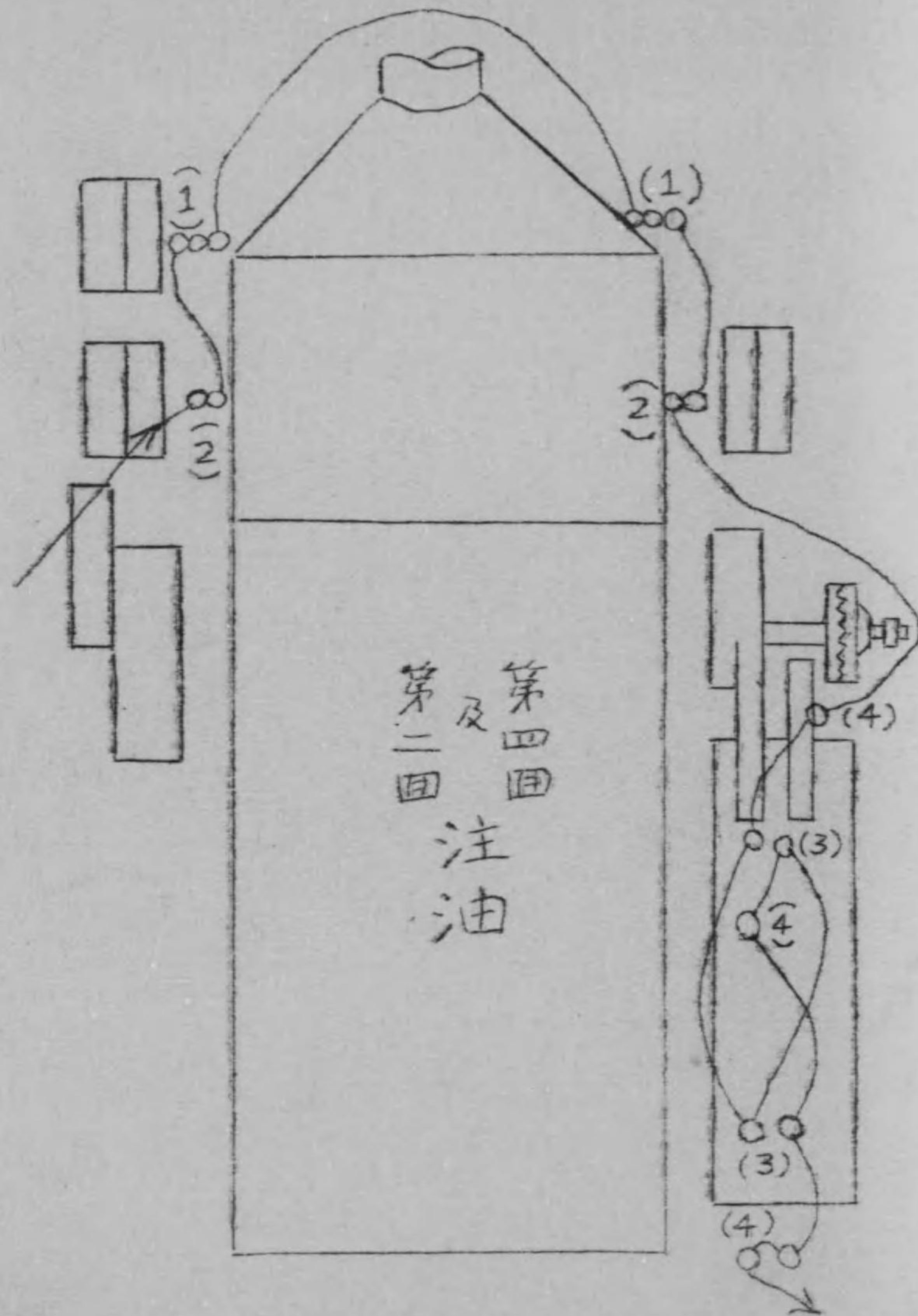
第三回注油

(57)

14	ルースプーレー	1	2	左
15	ラ4スシヤフトブラケット	2	2	左右
16	ウードラ4スローラーブラケット	1	2	〃
17	キヤリヤースタッド	1	2	左
18	シングルグルーヴ バンドプーレー	1	2	〃
19	ダブルグルーヴ バンドプーレー	1	2	〃
20	インデックスコグプーレー	2	1	右
21	フォークレバー	3	1	〃
22	ウエイトレバー	1	1	〃
23	ストラップガイド レバースタッド	1	1	左
24	エイルレバー	1	1	右
25	ダブルポストブラケット	2	1	左

(58)

(FIG 16) 74-ス74-ター注油



興附

版權所有

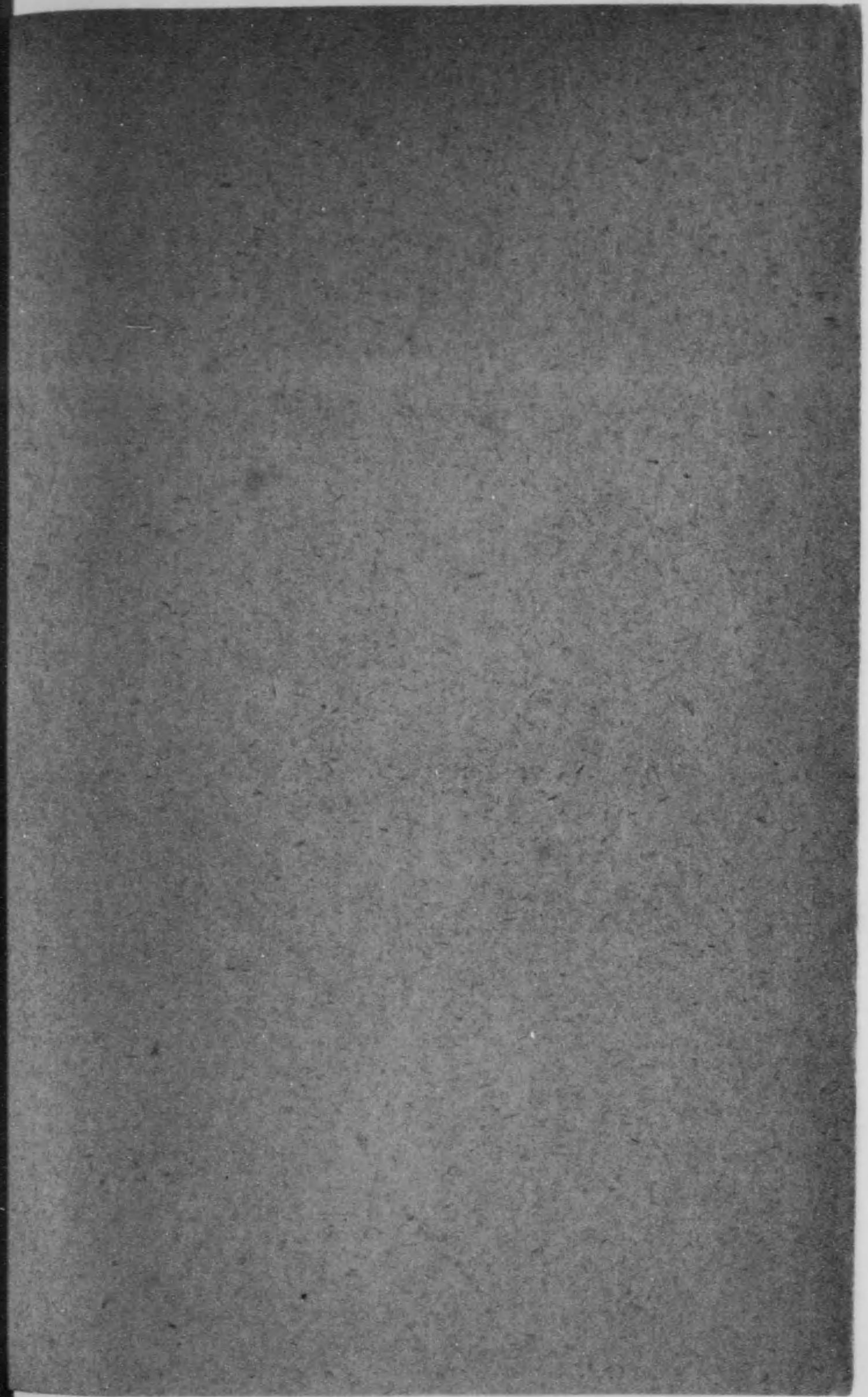
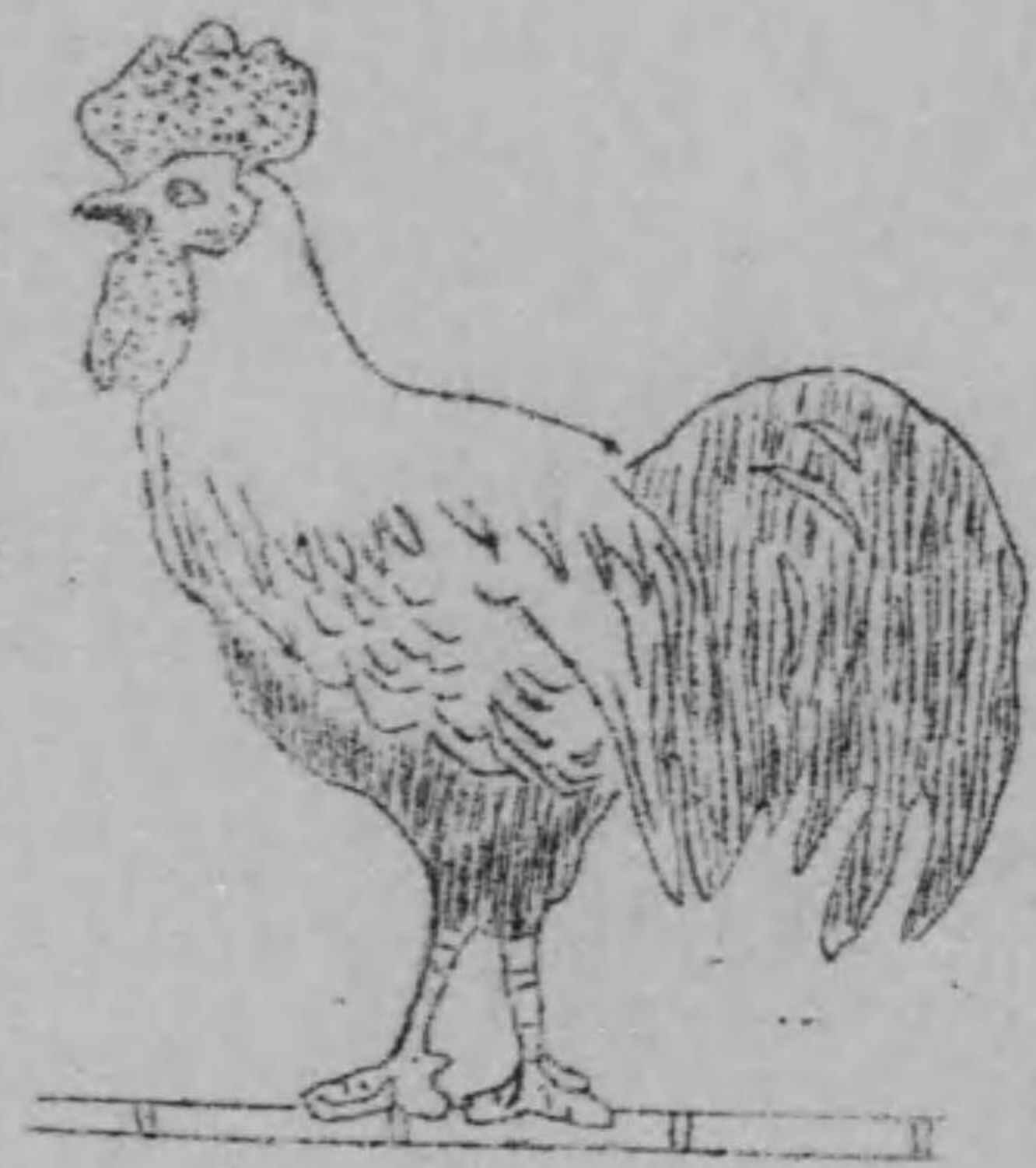
大正十年三月一日 印刷
大正十年三月二日 発行

著作発行兼印刷人
佐野寅造

發行所

大日本紡織學會
大阪市南区雑波元町一丁目三七
振替口座大阪五萬六千六百

非賣品



11
172

終